

Panasonic

中継サーバーソフトウェア

操作ガイド

品番 WV-AS700

このたびは中継サーバーソフトウェアをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後保存し、必要なときにお読みください。

本ソフトウェアをインストールする前に、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合にのみCD-ROMパッケージを開封し、インストール作業を行ってください。

商品概要

中継サーバーソフトウェア（以下、本ソフトウェア）は、遠隔地にあるカメラの画像をインターネット/イントラネットなどのIPネットワーク経由で、パーソナルコンピュータ（以下、パソコン）に配信するためのソフトウェアです。ユーザーは、配信された画像をパソコンのWWWブラウザで見ることができます。

：本ソフトウェアで画像を配信するためには、ネットワークインターフェースユニット（WJ-NT104）およびTurbolinux Serverが別途必要となります。また、Turbolinux Server上でApache HTTP Serverが動作している必要があります。本ソフトウェアとネットワークインターフェースユニットとの通信は、LAN、インターネット、OCN、ISDN（ルータ使用）などで接続できます。

カメラの画像は、ネットワークインターフェースユニットがデジタル信号に変換し本ソフトウェアに送ります。本ソフトウェアが送られてきた画像データを中継することによって、複数のユーザーが同じ画像（ライブ画像）をWWWブラウザで見ることができます。また、本ソフトウェアに送られてきた画像は、サーバー上のハードディスクに録画することができます。録画された画像データは、カメラまたは日付を指定して検索し、必要な画像を見ることもできます。

WWWブラウザによる操作

ユーザーはパソコンとWWWブラウザを利用して、インターネットのホームページを閲覧するときと同じ操作で本ソフトウェアにアクセスできます。

本ソフトウェアにアクセスすることによって、遠隔地にあるカメラの画像を見たり、カメラを操作したりできます。

WWWブラウザによるサーバーの管理

本ソフトウェアのインストール作業、画像を録画するための領域確保はTurbolinux Server上で行います。これらの作業完了後、本ソフトウェアの管理はインターネットに接続されたパソコン（WWWブラウザ）で行うことができます。

WWWブラウザを用いて本ソフトウェアを管理することができるため、管理用に特別なソフトウェアをパソコンにインストールする必要はありません。

操作画面のカスタマイズ

ユーザーが本ソフトウェアにアクセスしたときに表示される画面は、HTML（Hyper Text Markup Language）で記述されています。Apache HTTP Server上のHTMLファイルを書き替えることによって、お客様独自の画面にカスタマイズできます。

外部機器の制御

コントロールソフトウェアWV-AS400を組み込んだネットワークI/Fユニット（WJ-NT104）を使用すると、マトリクススイッチャー（WJ-SX550シリーズ、WJ-SX777シリーズ）、フレームスイッチャ（WJ-FS516）、デジタルディスクレコーダ（WJ-DR200）を制御することができます。ただし、これらの機器を制御するためにはカスタマイズが必要です。詳しくは本ソフトウェアをお求めなった販売店にご相談ください。

付属品をお確かめください

中継サーバーソフトウェア インストールCD-ROM.....	1
操作ガイドCD-ROM (PDF).....	1
インストールガイド.....	1

本書について

本書には、本ソフトウェアの機能と使いかたについて記載されています。
本書は、コンピューターおよびWWWブラウザの使いかたを十分に理解していることを前提にしています。ソフトウェアを使用する前に、ご使用のOSでのファイルの開きかた、編集方法、保存方法などの基本操作を習得してください。
コンピューターの使いかたについては、コンピューターに付属されているマニュアルをご覧ください。

本書の構成

本書は、全てのユーザーを対象とした解説編、一般ユーザー向けの操作編と、サーバー管理者向けの管理編に分かれています。

解説編

本ソフトウェアの動作環境、機能、使用上の注意事項を説明しています。本ソフトウェアを初めてお使いになる場合、最初に必ずお読みください。

操作編

WWWブラウザに表示される画面の説明および操作方法を説明しています。
なお、本編はWWWブラウザの操作方法およびインターネットについての知識を有している人を対象に記載しています。

管理編

Turbolinux Serverに、本ソフトウェアをインストールする方法、カメラからの画像を録画するための領域の確保方法、本ソフトウェアの設定方法を説明しています。なお、本編は以下の知識を有する人を対象に記載しています。

- ・ Turbolinux Server およびApache HTTP Server の管理方法
- ・ インターネットについての知識を有する人

また、インストール完了後、本ソフトウェアを使用するための設定方法について説明しています。

用語について

本書で使用する用語について説明します。

- サーバー : Turbolinux Server、Apache HTTP Server、中継サーバーソフトウェアがインストールされ、稼働しているコンピューターをサーバーと呼びます。
- ソフトウェア : 中継サーバーソフトウェアをソフトウェアと呼びます。
- パソコン : Microsoft® Windows® オペレーティングシステムで動作しているコンピューターをパソコンと呼びます。
- WWWブラウザ : インターネットのホームページを閲覧するためのソフトウェア（例：Netscape Navigator、Internet Explorerなど）をWWWブラウザと呼びます。
- 管理者 : 管理者グループに登録されているユーザーを管理者と呼びます。
- ユーザー : WWWブラウザで本ソフトウェアにアクセスし、画像を見たり、操作したりする人をユーザーと呼びます。
- アラーム画像 : アラームに連動して撮影された画像をアラーム画像と呼びます。
- タイプ1** : 本ソフトウェアをシステムタイプ1で使用する場合に、操作または設定できる項目です。

□ システムタイプとは □

本ソフトウェアの動作モードのことです。動作モードにはつぎの2つのモードがあり、管理者用メニューで設定できます。

システムタイプ1 : サーバー上に、カメラ画像を録画します。ライブ配信、録画画像の再生および検索などの操作を行うことができます。

システムタイプ2 : サーバー上に、カメラ画像は録画しません。ライブ配信のみ可能なモードです。録画画像の再生および検索はできません。

登録商標・商標について

- ・ 米国におけるLinuxの名称は、Linus Torvaldsの登録商標です。
- ・ Turbolinuxの名称およびロゴは、米国Turbolinux, Inc. の登録商標です。
- ・ ターボリナックス、Turbolinuxは、ターボリナックスジャパン株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoft® Windows®、Windows NT®、は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE, Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。Netscape、Netscape Communicatorは、Netscape Communications Corporation 社の商標です。（一部の国では、登録商標となっています。）
- ・ その他の社名または商品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

商品概要	i
付属品をお確かめください	ii
本書について	ii
本書の構成	ii
用語について	iii
登録商標・商標について	iii
解説編	1-1
システム構成	1-2
動作環境	1-3
センターサイト	1-3
カメラサイト	1-3
ユーザーサイト	1-4
機能概要	1-5
システムタイプ	1-5
ユーザー管理	1-5
グループ	1-6
ユーザータイプ	1-6
グループとユーザータイプの関係	1-6
ユーザー認証	1-7
モニタリング機能	1-8
カメラサイトとの接続方法	1-8
随時接続	1-8
常時接続	1-8
画像取得の失敗	1-9
アクセス制限	1-9
カメラ制御	1-10
排他制御	1-10
ロックモード	1-10
タイムアウトモード	1-10

スケジュールによる管理	1-11
ライブ停止スケジュール機能	1-11
スケジュールの設定方法	1-12
録画・再生	1-13
録画開始方法	1-13
録画スケジュール	1-13
アラーム録画	1-14
マニュアル録画	1-14
録画領域	1-14
通常録画領域	1-15
アラーム録画領域	1-15
検索	1-16
時刻検索	1-16
アラーム画像検索	1-16
再生	1-16
データ取り出し	1-17
アラーム機能	1-17
アラームによる画像録画	1-18
Eメール通知	1-18
TCPアラーム通知	1-18

操作編（一般ユーザー向け） 2-1

操作の基本 2-2

ライブモード画面 2-4

画面の構成	2-4
カメラ選択・カメラ操作	2-5
カメラ選択	2-5
カメラ操作パネル	2-6

再生モード画面 2-8

再生操作パネル	2-9
---------------	-----

4画面表示 2-10

カメラ選択	2-10
4画送り	2-10

時刻検索 2-11

アラーム画像検索 2-13

こんなときには 2-15

管理編	3-1
周辺機器の準備	3-2
ネットワークインターフェースユニットの設定	3-2
カメラの設定	3-3
当社製コンビネーションカメラを使用する場合	3-3
インストール	3-4
作業概要	3-4
システムタイプの決定	3-4
ディレクトリ構成	3-5
インストールのしかた	3-6
CD-ROMのマウント	3-6
アーカイブファイルを展開する	3-6
CD-ROMのアンマウント	3-7
録画領域の確保	3-7
録画用ディスクの用意	3-7
新規にパーティションを用意する場合	3-8
既存のパーティションを使用する場合	3-8
中継サーバーソフトウェアの起動	3-9
録画領域の設定	3-9
スケジュールの設定	3-10
ユーザーの登録	3-11
メール環境の整備	3-11
中継サーバーソフトウェアの終了	3-11
管理者機能	3-12
管理者用メニュー画面	3-14
カメラ設定画面	3-16
個別カメラ設定画面	3-18
録画領域設定（録画領域一覧）	3-20
一括初期化設定画面	3-22
カメラn用の録画領域設定画面	3-23
カメラnの録画領域初期化画面	3-24
カメラnの録画領域追加画面	3-26
カメラnの録画領域削除画面	3-28
カメラnのアラーム録画領域の開放画面	3-29
録画の一時停止・再開画面（バックアップ用）	3-30
ユーザー設定（ユーザー一覧画面）	3-31
新規ユーザー登録画面	3-32
ユーザー登録変更画面	3-33
グループ名設定（グループ名一覧）	3-35

アラーム設定	3-36
録画スケジュール設定	3-38
録画スケジュール一覧画面3-38
録画スケジュール設定画面3-40
ライブ停止スケジュール設定	3-42
ライブ停止スケジュール一覧画面3-42
ライブ停止スケジュール設定画面3-43
システム設定	3-45
データ取り出し	3-47
システム終了・再起動	3-49
HTMLのカスタマイズ	3-51
URLのフォーマット3-51
ライブ画像取得、再生画像取得3-51
view3-51
playview3-52
カメラ操作3-52
camctrl3-52
録画3-53
record3-53
record_stop3-53
再生・検索3-54
play3-54
tdsearch3-55
almsearch3-55
アンインストール	3-57
こんなときには	3-58
索引	3-59

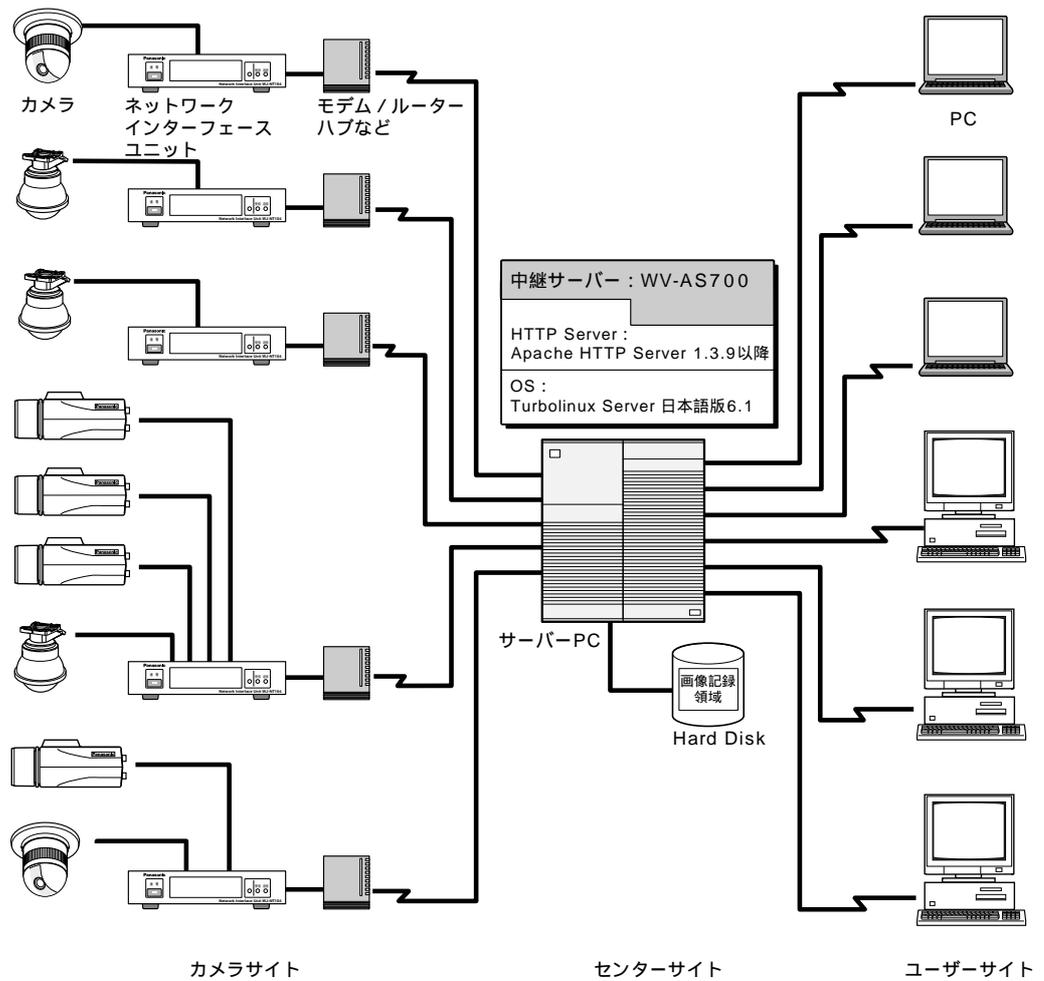
解説編

ここでは、本ソフトウェアの動作環境、機能について説明しています。初めて本ソフトウェアをお使いなるかた、およびサーバー管理者は必ずお読みください。

システム構成

本ソフトウェアは、下図のサーバーPCにインストールして実行します。
 ご使用時には、設置先のネットワーク環境、監視システム環境に合わせて、設定を行う必要があります。

【システム構成概要】



動作環境

ここでは、サイトごとに、本ソフトウェアを使用するために必要な環境を説明します。

センターサイト

サーバーPCは、以下の条件を満たしているものを別途ご用意願います。

項目	動作環境	
コンピューター ¹	CPU	PentiumIII 600MHz相当以上
	メモリー	512MB以上
	LANカード	10BASE-T/100BASE-TX対応コントローラ（カメラ側、配信側、メンテナンス用の3基構成を推奨）
OS	Turbolinux Server 日本語版 6.1	
サーバー	HTTP Server	Apache HTTP Server 1.3.9以降 ²

1 動作保証OSに、Turbolinux Serverが含まれているサーバーPCをご使用ください。

2 Turbolinux Serverインストール時に、「HTTP Server」を含む構成でインストールすると自動的にインストールされます。

注1 メール機能を使用する場合、メール環境が整備されている必要があります。

注2 次のコマンドを入力し、iplogをOFFに設定することをお勧めします。iplogを取得するとログファイルが肥大し、設定ファイルが削除される、または書き込めないなどの問題が発生することがあります。

```
#/etc/rc.d/init.d/iplog stop
#chkconfig iplog off
```

カメラサイト

本ソフトウェアでカメラサイトにアクセスするためには、以下の機器が別途必要となります。

項目	品番・概要
ネットワークインターフェースユニット	WJ - NT104 Ver1.21以上
接続可能なカメラ	NTSCコンポジット信号を出力するカメラ
制御可能なカメラ	ネットワークインターフェースユニットで制御できるカメラ（WV-CS850，WV-CS650など）
カメラ最大数	64台 （録画あり：システムタイプ1）
	100台 （録画なし：システムタイプ2）

ユーザーサイト

WWWブラウザが動作するパソコンであれば、本ソフトウェアにアクセスし、画像を見たり、操作したりできます。推奨環境は下表のとおりです。

項目	概要
パソコン	推奨OSが動作するパソコン
推奨OS	Microsoft® Windows® (98, Millennium Edition, NT4.0 SP3以降, 2000)
推奨ブラウザ	Netscape Navigator4.5以降 または Internet Explorer4.01SP1以降

: 本ソフトウェアを設定するときはInternet Explorer 4.01 SP1以降で操作してください。その他のブラウザでは正しく操作できないことがあります。

□ インターネット・WWWブラウザの環境について □

- ・インターネット経由で本ソフトウェアにアクセスする場合
回線状況またはお客様のLANの形態（ファイアウォールの有無など）によっては、本ソフトウェアが配信するHTMLを正しく表示できない場合があります。
本ソフトウェアが配信するHTMLにはJava Script、CGIに対する命令が含まれています。これらの命令をブロックするような環境では正しく表示できませんので注意してください。
- ・回線状況が悪い場合
通信速度が遅い、画像データを受信できないなど通信状況が悪い場合、画像が見づらくなったり、映像取得失敗を表す静止画像が表示されたりすることがあります。このような現象が頻発する場合は、映像取得間隔を調整してください。

機能概要

ここでは本ソフトウェアの機能について説明します。

システムタイプ

本ソフトウェアは、録画を行うタイプ1と録画を行わないタイプ2のどちらかを選択できます。システムタイプは管理者用メニュー画面で設定します。設定内容は再起動後から有効になります。本ソフトウェアインストール直後はタイプ1に設定されています。設定したシステムタイプによって下表の内容が異なります。

表 システムタイプによる相違点

項目	タイプ1 (録画あり)	タイプ2 (録画なし)
最大カメラ数	64台	100台
最大同時アクセス数	100人	200人
記録画再生の同時アクセス数	32人	
フレームレート (参考値)		
カメラ側	ライブ + 録画 Max64ips 1fps × 64台 ~ 5fps × 16台	ライブのみ Max100ips 1fps × 100台 ~ 5fps × 20台
端末側	ライブ中継 Max100ips 1fps時100人、5fps時20人	ライブのみ Max100ips 0.5fps時200人、5fps時20人
再生	Max 64ips, 32人まで 2fps時32人、5fps時2人	

: 録画画像を再生しているユーザーとライブ画像を見ているユーザの合計です。32人が再生をしている場合は、ライブ画像を同時に見れるのは68人になります。

注 中継および同時に再生を行うシステムの場合は、最大100fpsで設計願います。

ユーザー管理

この機能は管理者のみ操作できます。

ユーザー管理は、カメラおよびサーバー上のデータへの不正アクセスを防止するための機能です。

本ソフトウェアはグループとユーザータイプの2つの方法でユーザーが操作できるカメラを管理します。

サーバー管理者は、利用者を登録するとき、ユーザーが所属するグループおよびユーザータイプを設定する必要があります。 [☞ユーザー設定](#)

同様に、カメラごとにカメラが所属するグループを設定します。 [☞カメラ設定](#)

基本的に、ユーザーは同じグループに所属するカメラの画像を見たり、操作したりできます。操作できる内容は、ユーザーごとに設定するユーザータイプで決まります。

グループ

カメラおよびユーザーごとに所属するグループを設定します。グループには、一般ユーザー用のグループと管理者用の管理者グループがあります。

・一般ユーザー用のグループ

このグループは、本ソフトウェアにアクセスし、カメラの画像を見たり、操作したりするためのグループです。カメラおよびユーザーごとに設定します。

ユーザーは同じグループに属するカメラの画像を見たり、操作したりできます。

グループには、つぎの制約事項があります。

- ・一人のユーザーが複数のグループに属することはできません。
- ・一般ユーザーで複数のグループのカメラを制御するような場合は、グループごとにユーザーを用意する必要があります。
- ・すべてのユーザーからモニタリングまたは操作を許可する場合、そのカメラにグループを設定する必要はありません。

・管理者グループ

管理者グループは、本ソフトウェアを設定するための特別なグループです。

本ソフトウェアの設定を行うためには管理者グループに属している必要があります。管理者グループのユーザーは全カメラの操作が可能です。必ず、最低1人は管理者グループに登録してください。管理者グループに登録させているユーザーが1人もいないと本ソフトウェアを管理できなくなります。

ユーザータイプ

ユーザーごとに、操作できる範囲をつぎの2つから選択して設定できます。

・モニター

このユーザーは、同じグループのカメラの画像を見ることができます。

・オペレーター

このユーザーは同じグループのカメラの画像を見たり、カメラの操作、画像の録画、検索、再生を行うことができます。

グループとユーザータイプの関係

グループとユーザータイプの関係をまとめると下表のようになります。また、図「ユーザー管理例（次ページ）」を合わせてご覧ください。

表 グループとユーザータイプの関係

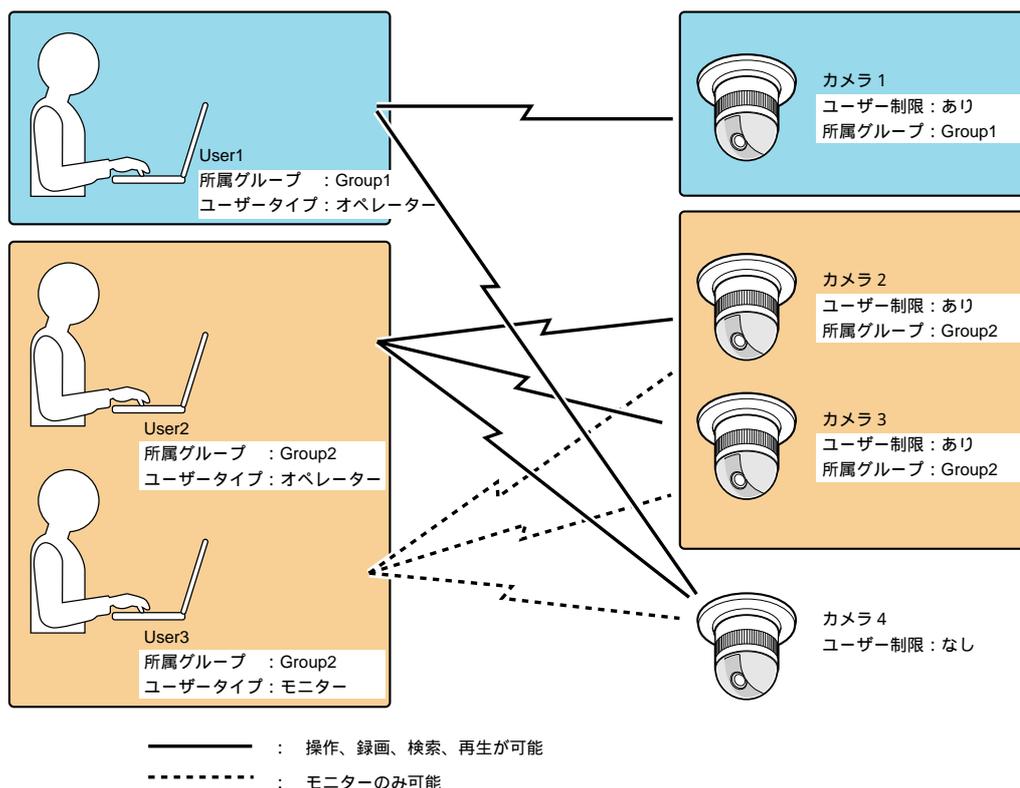
ユーザー		カメラ（ユーザー制限）		
		なし	あり	
ユーザータイプ			Group 1	Group 2
管理者グループ	オペレーター			
	モニター			
Group 1	オペレーター			×
	モニター			×
Group 2	オペレーター		×	
	モニター		×	

：管理者グループに登録されているユーザーはすべての操作を行うことができます。
（オペレーターとモニターの違いはありません）

凡例

：すべて操作可能 ：録画のみ不可 ：カメラ画像表示のみ可 ×：操作不可

【ユーザー管理例】



ユーザー管理例について

- ・ User1は、Group1に属するカメラ1と、ユーザー制限なしのカメラ4を操作できます。
- ・ User2は、Group2に属するカメラ2～カメラ3と、ユーザー制限なしのカメラ4を操作できます。
- ・ User3はユーザータイプがモニターのため、Group2に属するカメラ2～カメラ3とカメラ4の画像のみ見ることができます。User2とは異なり、カメラは操作できません。

ユーザー認証

本ソフトウェアにアクセスし、ユーザー制限のかかったカメラを選択すると、ユーザー認証のためのポップアップウィンドウが表示されます。

ユーザーは自分のユーザーIDとパスワードを入力します。入力したユーザーIDで操作できる場合、そのカメラの画像を見たり、カメラを操作したりできます。

認証が成功すると、WWWブラウザを終了するまで、認証を受けたユーザーの使用可能な範囲で操作できます。

認証後、許可されていないカメラ（別グループのカメラ）を選択すると、そのカメラを操作するために必要な認証を受けるためのポップアップウィンドウが表示されます（設定例の図の場合、User1がカメラ2を操作しようとするするとポップアップウィンドウが表示されます）。

注 認証に成功するまで、ポップアップウィンドウが表示され続けます。認証処理を中止するときはWWWブラウザを強制終了してください。強制終了のしかたはお使いになるパソコンのOSによって異なります（OSの操作説明書をお読みください）。

モニタリング機能

ユーザーは、WWWブラウザで本ソフトウェアにアクセスすると、サーバを経由してカメラの画像を見ることができます。

実際はネットワークインターフェースユニットを介して画像の取得を行います。ただし、ユーザーは管理者が設定したカメラ番号で操作するため、ネットワークインターフェースユニットのIPアドレスや接続形態を意識する必要はありません。

カメラサイトとの接続方法

この機能は管理者のみ操作できます。

サーバからカメラサイトにアクセスする方法には、常時接続と随時接続があります。

接続方法は、カメラごとに設定できます。

随時接続

随時接続は、必要に応じてカメラサイトにアクセスする方法です。

- ・ユーザーからのモニタリング・録画要求があった場合
- ・スケジュール録画またはアラームなどによる録画

カメラサイトへのアクセス頻度が少ない場合、随時接続を使用すると電話代などの回線コストを軽減できます。また、常時接続と比較した場合、随時接続の方がネットワークトラフィックを軽減できます。ただし、接続するまでに数秒から数分の時間がかかる場合があります。

ユーザーから該当するカメラにアクセスがない、またはスケジュール機能などで録画しない場合、カメラサイトにアクセスしません。

注：随時接続を設定し、アラーム発生時の画像を録画する場合、アラーム発生時から接続が完了するまでの画像は録画できません。

常時接続

常時接続は、サーバの起動直後から常にカメラサイトにアクセスします。

画像取得の失敗

ネットワークインターフェースユニットまたはネットワークに異常が発生したなどの理由で、サーバーが画像を取得できなかった場合、あらかじめ設定されているメールアドレスにメールを送信して知らせることができます。 [👉アラーム設定画面](#)

画像を取得できなかった場合、カメラにアクセスしたユーザーには下図の画面を表示して画像取得が失敗していることを知らせます。

アクセスに失敗しても、接続が成立するまで定期的にリトライをかけます。ただし、リトライに失敗した場合、通知は行いません。

【画像】映像の取得に失敗しました



【画像取得失敗時のEメールの例】

中継サーバーで画像の取得に失敗しました。 日時 : 2001年08月26日20 : 35 : 05 カメラ : 1番
--

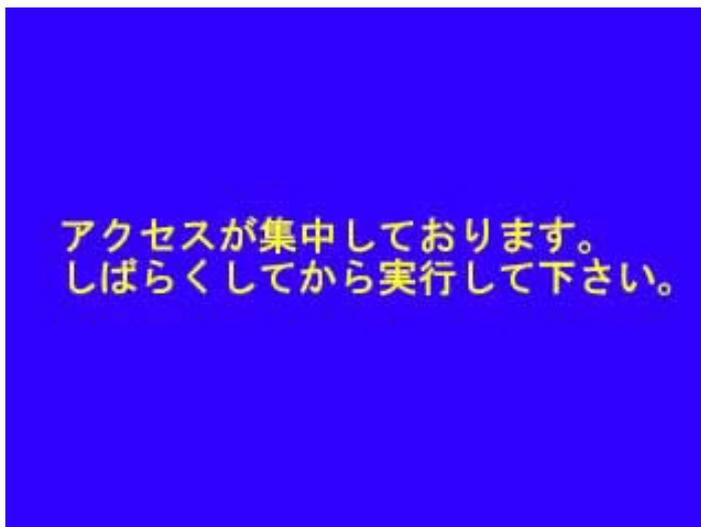
アクセス制限

この機能は管理者のみ操作できます。

サーバーの負荷を押さえるために、本ソフトウェアへのアクセスを制限できます。

最大同時アクセス数に達すると、本ソフトウェアは下図の画面を画像表示領域に表示し、アクセスを制限します。 [👉システム設定画面](#)

【画像】アクセス集中



カメラ制御

ユーザータイプがオペレーターの場合は、同じグループ内のカメラを操作できます。

👉 [ライブ画像の操作](#)

排他制御

この機能は管理者のみ操作できます。

操作するカメラの競合をさけるため、本ソフトウェアは排他制御を行います。

排他制御にはロックモードまたはタイムアウトモードがあります。👉 [システム設定](#)

ロックモード

ロックモードは、ユーザーが使用中のカメラをほかのユーザーから操作できなくするためのモードです。

例えば、User1がCamera1にアクセスしている場合（Camera1をUser1がロックしている状態）、他のユーザーはUser1が別のカメラを選択するまでCamera1にアクセスすることはできません。

ただし、ロック状態になり続けるのを防ぐため、最後に操作してから10分経過すると自動的に制御権を解放します。

タイムアウトモード

ユーザーが制御権を取得して一定時間経過すると自動的に制御権が解放されるモードです。

解放されるまでの時間、他のユーザーは操作できません。👉 [システム設定](#)

タイムアウト時間は設定画面で変更が可能です（初期値は30秒に設定されています）。

注 管理者グループのユーザーは、通常ユーザーの操作よりも優先されます。

スケジュールによる管理

本ソフトウェアは、スケジュールを設定することによってライブ画像の取得・配信を自動的に停止したり、カメラの画像を録画する時間帯を指定したりできます。

- ・ライブ画像配信停止（ライブ停止スケジュール）
- ・録画（録画スケジュール）

□ ライブ停止スケジュールと録画スケジュールの関係 □

ライブ停止スケジュールと録画スケジュールの時間帯が重なった場合、ライブ配信停止画像を1枚のみ録画します。

ライブ停止スケジュール機能

ライブ画像とは、カメラの画像をユーザーに配信する機能です。

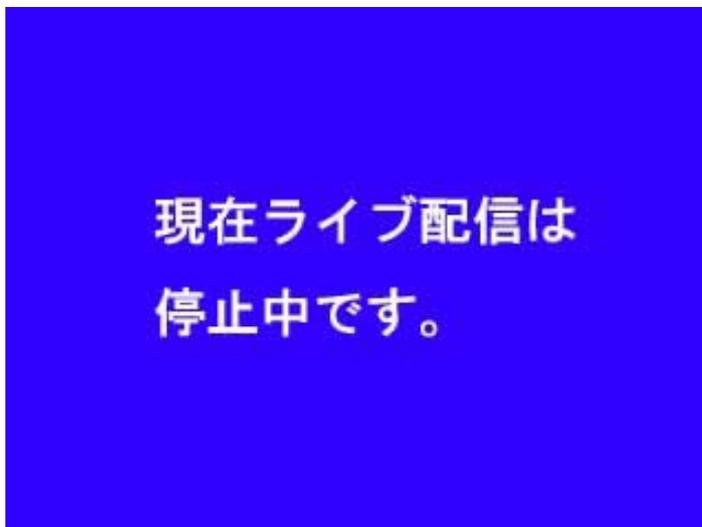
通常、本ソフトウェアはアクセスしたユーザーに対しライブ画像を配信します。

ライブ画像の配信停止をスケジュールすることによって、ライブ画像の配信を自動的に停止できます。定期的に、カメラサイトのメンテナンスを行う場合など利用すると便利です。

例えば、ライブ停止スケジュールを設定することによって、夜間または土日はライブ画像の配信を中止したいなど、曜日ごとに時間を指定して、ライブ画像の配信を停止することができます。

スケジュールで設定した時刻になると、ライブ画像の代わりに固定画像を配信します（例：下図）。

【画像】ライブ配信停止中



配信停止をお知らせする画像は優先度（1～4）によって変更できます。優先度と本ソフトウェアが表示する画像は1対1に対応しています。優先度と表示される画像ファイルの対応は下表をご覧ください。

表 インストール時にコピーされる画像サンプル

優先度	表示するファイル	サンプルの内容
1	blue1.jpg	メッセージ「ライブ配信停止中」が表示されます。
2	blue2.jpg	メッセージ「本日のサービスは終了致しました。」が表示されます。
3	blue3.jpg	メッセージ「現在メンテナンス中です。」が表示されます。
4	blue4.jpg	メッセージ「画像の取得に失敗しました。」が表示されます。

優先度と配信画像の関係は下図をご覧ください。

【優先度と配信画像の関係】

	3:00	4:00	5:00	6:00
録画スケジュール1		優先度1		
ライブ停止スケジュール1	優先度2			
ライブ停止スケジュール2		優先度1		
配信画像	blue2.jpg	blue1.jpg	ライブ画像	
録画領域		blue1.jpgを1枚録画		ライブ画像を録画

□ 録画スケジュール機能 □

録画スケジュール機能については、「録画・再生」をお読みください。☞ [録画・再生](#)

スケジュールの設定方法

ライブ停止スケジュールおよび録画スケジュールは、それぞれ20個まで設定できます。開始時刻、終了時刻、カメラ番号、優先度の設定が可能です。

表 設定範囲

設定項目	説明
開始曜日	月、火、水、木、金、土、日、土日、月～金、毎日が指定可能。
開始時刻	時(0～23、毎時) 分(0～59、毎分)が設定可能。
終了曜日	月、火、水、木、金、土、日、土日、月～金、毎日が設定可能。
終了時刻	時(0～23、毎分) 分(0～59、毎分)が設定可能。
カメラ番号	使用するカメラ番号を設定します。
優先度(録画スケジュール)	1～5が設定できます。1が一番高く、5が一番低い優先順位になります。
優先度(ライブ停止)	1～4が設定できます。1が一番高く、4が一番低い優先順位になります。
同時刻で同じカメラ番号を使用するスケジュールが重なった場合	優先度の高いスケジュールに従って動作します。
毎時を選択した場合	自動的に開始日時、終了日時ともに毎日毎時になります。
また、毎分を選択した場合	自動的に開始日時、終了日時ともに毎日毎時毎分になります。

設定例

設定内容	概要
金曜 8時00分 ~ 金曜 20時00分・・・	毎週金曜8:00～20:00
土曜 10時30分 ~ 日曜 22時30分・・・	毎週土曜の10:30～翌日(日曜)の22:30
毎日 毎時 10分 ~ 毎日 毎時 20分・・・	毎日毎時10分～20分の間
毎日 毎時 毎分 ~ 毎日 毎時 毎分・・・	本ソフトウェアが起動中(常時)

録画・再生 タイプ1

録画開始方法

本ソフトウェアでカメラ画像を録画するには、つぎの3種類の方法があります。

- (1) スケジュールによる録画
- (2) アラームによる録画
- (3) 手動操作による録画

スケジュール録画中に、アラームが発生した場合やユーザーがマニュアル録画を行った場合など、同時刻に複数の録画要求が発生することがあります。その場合、本ソフトウェアは最も優先度の高い録画のフレームレートで録画します。

録画スケジュール

この機能は管理者のみ操作できます。

本ソフトウェアは、スケジュールで設定された時間だけ、通常録画領域（後述）にカメラの画像を録画します。スケジュールは、サーバー運用中に、管理者機能画面で変更できます。スケジュールは最大20件登録可能です。

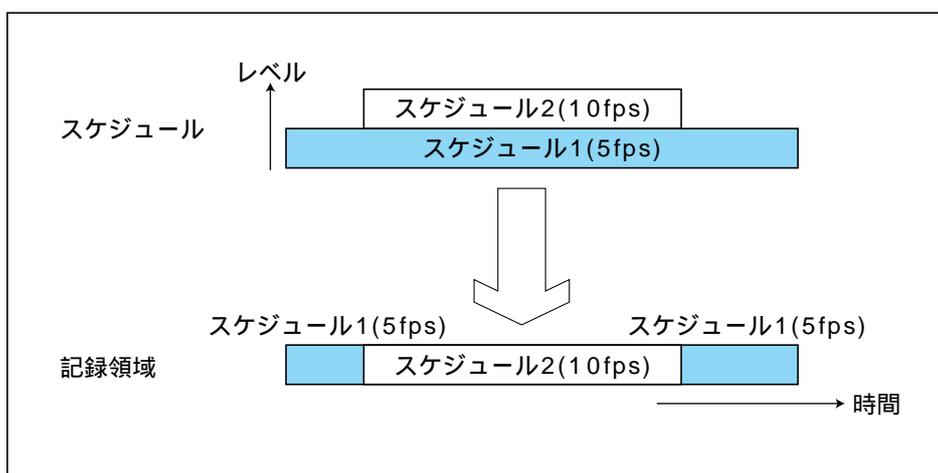
カメラ画像を録画中に、録画領域の容量を超えた場合、上書き録画するかしないかを設定できます。また、スケジュールごとにフレームレート（1秒間に録画する画像の枚数）を指定することもできます。

スケジュールは、曜日と時刻（時分）で指定できます。毎日、毎時、毎分という指定が可能で、毎日決まった時間だけ録画するように指定することもできます。また、特別な例として、本ソフトウェアが起動している間録画するように指定することもできます。

同じカメラで同じ時刻に複数のスケジュールによる録画が重なった場合、レベルの高いスケジュールのフレームレートが使用されます。

下図のようにスケジュール1の開始後に、レベルの高いスケジュール2が開始されたとき、スケジュール2が終了するまでスケジュール2のフレームレートで録画します。その後、スケジュール1のフレームレートで録画します。

【スケジュールと録画レートとの関係】



アラーム録画

この機能は管理者のみ操作できます。

アラーム発生時に録画するように設定すると、アラーム録画領域（後述）に該当するカメラの画像を録画できます。アラーム録画の特徴はつぎのとおりです。

- ・アラーム録画は設定した時間が経過すると自動的に停止します。手動で停止することはできません。
- ・同じチャンネルに、続けてアラームが入った場合は、録画時間が延長されます。

□アラーム録画を行うには□

ネットワークインターフェースユニットに接続されたアラームが動作したとき、本ソフトウェアはアラーム録画を行います。アラーム録画を行うためには、ネットワークインターフェースユニットのアラーム設定で「独自アラーム」を有効にする必要があります。また、WJ-NT104と本ソフトウェア間がIPReachable(IPで直接通信可能なこと)で通信できることが必須条件です。

カメラによっては内部アラームをカメラ画像とともにネットワークインターフェースユニットに送信する機種がありますが、内部アラームでアラーム録画はできません。

マニュアル録画

ユーザーは、本ソフトウェアにアクセスし、必要に応じてサーバーの録画領域にカメラの画像を手動で録画（マニュアル録画）できます。☞[カメラ操作パネル](#)

マニュアル録画を行う場合、カメラ操作パネルの録画ボタンをクリックします。録画停止ボタンをクリックするまで、録画し続けます。

録画停止ボタンをクリックすると録画を停止します。

同じチャンネルのカメラ画像に対して、複数のユーザーが同時に録画できます。ただし、停止を行った場合、同じチャンネルの全ての手動録画が停止されます。ただし、スケジュール録画、アラーム録画は止まりません。

録画領域 タイプ1

この機能は管理者のみ操作できます。

録画領域は、スケジュール録画、アラーム録画、手動録画で画像を録画する領域です。ライブ配信サービスのみ行うタイプ2で使用する場合、録画領域を確保する必要はありません。

本ソフトウェアを使用するためには、S3_DATAで始まる録画領域を確保する必要があります。録画領域は、通常録画領域とアラーム録画領域として使用されます。

通常録画領域

スケジュールによるカメラの画像を録画する領域です。カメラごとに画像を記録する領域を設定します。 [録画領域設定](#)

録画領域初期化時に、録画領域の容量を超えるような場合、上書き録画するかしないかを設定できます。

録画領域を作成した直後はすべての領域が通常録画領域として割り当てられています。アラームが発生すると、通常録画領域に、アラーム録画領域を割り当てながら録画していきます。したがって、アラーム画像が録画されるたびに、通常録画領域は減少していきます。

アラーム録画領域

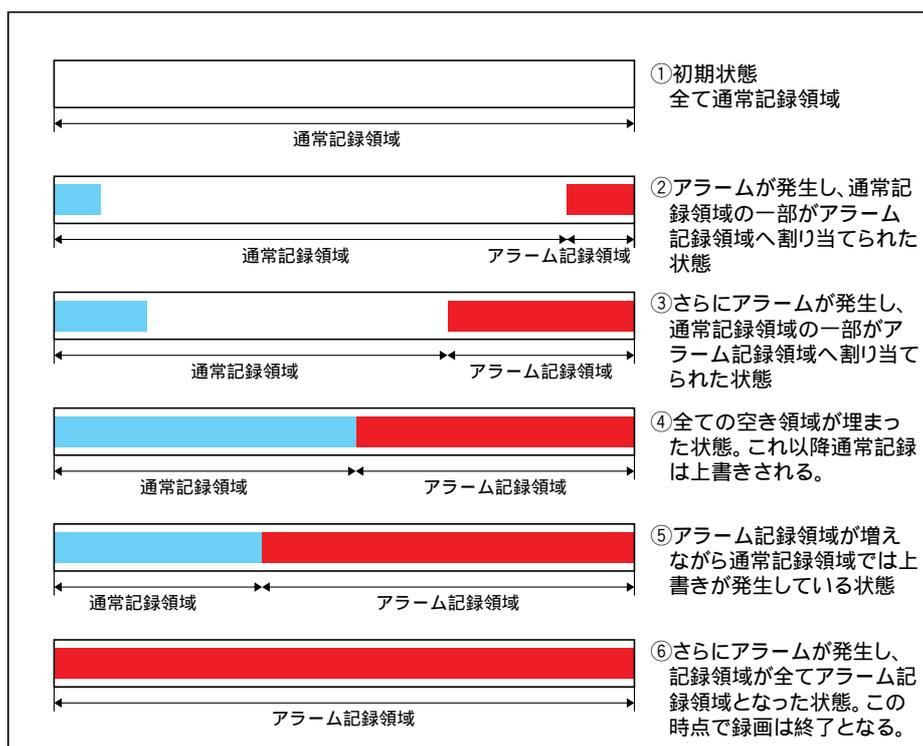
アラーム画像およびマニュアル録画画像が録画された領域です。アラーム録画領域に録画された画像データは上書きされません。すべての領域がアラーム領域として使用された場合、通常の画像およびアラーム画像は録画できなくなります。

録画を再開するためには、アラーム録画領域を通常録画領域に戻す必要があります。通常録画領域に戻すには管理者機能の「アラーム録画領域の開放」を行います。 [アラーム録画領域の開放](#)

表 録画領域の種別

領域の種別	通常録画領域	アラーム録画領域
用途	スケジュール録画	アラーム録画、手動録画
上書き	上書きする/しない設定あり。 (領域作成時に指定)	上書きしない。
その他	録画領域を初期化直後は、 すべて通常録画領域。	アラーム録画するたびに通常録画領域から領域を確保して使用する。アラーム録画領域の開放で通常録画領域に戻すことが可能。

【通常録画領域とアラーム録画領域の関係】



検索 タイプ1

本ソフトウェアは、時刻またはアラームのログをもとに必要な画像を検索して再生できます。

時刻検索

時刻をキーとして、通常録画領域およびアラーム録画領域に録画されている画像を検索して再生することができます。

検索結果は再生のためのリンクが埋められたHTMLとして表示されます。検索結果のリンクをクリックすると、その場所から再生が開始されます。 [時刻検索](#)

検索キーとして、年月日時分を指定できます。指定した時刻に画像がない場合プラスマイナス30分以内にある最も近い画像を検索します。

注 つぎのような場合は、正しく検索ができないことがあります。

- ・ サーバの時計を変更した
- ・ 録画されたデータの時系列が正しくない

アラーム画像検索

アラーム時に記録されるアラームログを対象とした検索が可能です。時刻検索と同様に、結果は再生のためのリンクが埋められたHTMLとして表示されます。再生のリンクをクリックするとその場所から再生が開始されます。 [アラーム画像検索](#)

再生 タイプ1

再生には以下のような特長があります。

- ・ カメラの画像を録画しながら同時再生が可能です。
ユーザーは、本ソフトウェアが録画中かどうか意識する必要がありません。
- ・ 複数のユーザーが同時に、同じチャンネルの異なる録画位置を再生できます。
- ・ 高速再生、高速逆再生、スロー再生、一時停止、コマ送りなど、VTRと同じ様な操作を行うことができます。
- ・ 通常再生と全コマ再生があります。

通常再生は、録画した時間間隔を再現したいときに使うと便利です。このため、回線状況によっては、録画時の時間間隔を再現するために画像を飛ばしながら表示を行います。例えばネットワーク等の状況に応じて、10分の録画画像を10分で再生します。

全コマ再生は、録画されている画像をすべて確認したいときに使うと便利です。本ソフトウェアは録画した時間間隔と関係なく、録画されている画像をすべて表示します。

データ取り出し タイプ1

この機能は管理者のみ操作できます。

アラームやスケジュールなどにより本中継サーバで録画を行った画像データは独自フォーマットで格納されています。

画像取り出し機能は、録画したデータを外部で閲覧することができるように、JPEG (JFIF) フォーマットの静止画として、サーバー内の別のディレクトリにコピーする機能です。

☞ [データ取り出し画面](#)

取り出したいカメラのカメラ番号、開始点の時刻および終了点の時刻、取り出す先のディレクトリ（サーバーのハードディスク）を指定し、取り出しボタンをクリックするとJPEGデータとして画像を取り出すことができます。

取り出した画像はFTPソフトウェアなどを使用して、別のパソコンにコピーできます。

本機能を使用して画像を取り出すと、画像データの管理ファイルに履歴が残ります。アラーム領域を開放するとき、取り出し済みのアラーム画像の領域のみ開放することができます。☞ [アラーム録画領域の開放](#)

アラーム機能

この機能は管理者のみ操作できます。

ネットワークI/Fユニット(WJ-NT104)からのアラーム通知を本ソフトウェアが受け取ると、録画やユーザー端末への通知などを行う機能です。

本機能を使用するためにはWJ-NT104のアラーム設定を行う必要があります。☞ [ネットワークI/Fユニットの設定参照](#)

本ソフトウェアがアラーム通知を受け取るとつぎの処理を行います。

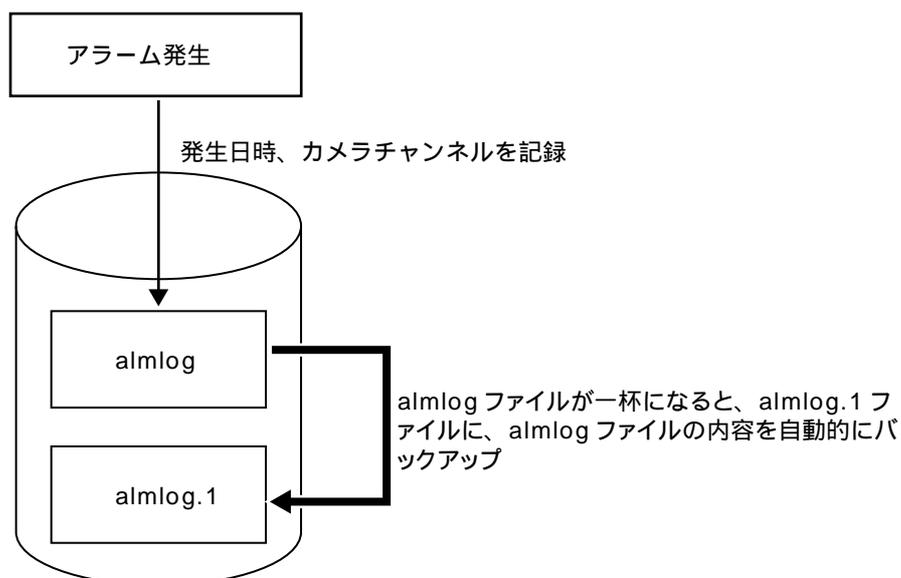
- (1) アラームログファイルへの記録
- (2) 画像録画
- (3) Eメール通知
- (4) TCPアラーム通知

アラームログファイルへの記録(1)は必ず行います。(2)～(4)の機能は、動作させる/させないの設定が可能です(すべて動作させることもできます)。

□ almllogファイルについて □

almllogファイルは、アラーム画像検索などに用いられるバイナリファイルです。almllogファイルの大きさは10MBです。10MBを超えると、バックアップファイル(almllog.1)に、almllogファイルの内容をコピーします。その後、almllogの内容を消去し、almllogファイルへの記録を再開します。

almllog.1ファイルの内容は、almllogファイルが一杯になるたびに書き換えられます。



アラームによる画像録画 タイプ1

アラームが発生したタイミングでアラームが発生したカメラの画像を録画できます。フレームレート、録画時間を設定できます。☞[アラーム設定画面](#)
アラームによる画像録画はアラーム録画領域に録画されます。

Eメール通知

登録したメールアドレスに、アラームが発生したことを通知するメールを送信できます。
☞[アラーム設定画面](#)

【アラームが発生したときに通知するEメールの例】

3番カメラにアラームが発生しました。

日時 : 2001年07月22日20 : 35 : 15

TCPアラーム通知

ネットワークインターフェースユニットから本ソフトウェアにアラームが通知されたとき、サーバ側で設定したIPアドレスにTCP/IP プロトコルをベースにした専用プロトコルでユーザーに通知します。受信する端末側に専用のソフトウェアが必要になります。☞[アラーム設定画面](#)

操作編（一般ユーザー向け）

ここでは、本ソフトウェアへのアクセスのしかたおよび操作方法について説明します。

- ・本ソフトウェアへのアクセスはインターネット用のWWWブラウザで行います。WWWブラウザは各自でご用意願います。WWWブラウザの起動および操作のしかたは、お使いになるWWWブラウザの操作説明書またはヘルプをお読みください。
- ・ユーザー制限されたカメラにアクセスするためには、登録されているユーザーで操作する必要があります。ユーザー名、パスワードなどはサーバー管理者にご確認願います。
- ・本書は、中継サーバーソフトウェア本体と同時にインストールされる標準のHTMLを使用して説明しています。お客様がHTMLファイルをカスタマイズした場合、画面の構成および動作が異なる場合があります。

操作の基本

ここでは、本ソフトウェアにアクセスし、画像を取得する方法およびカメラの操作のしかたについて説明します。その後、画面の各項目について説明します。
本ソフトウェアにアクセスして画像を見る場合、以下の手順で操作します。

1 WWWブラウザを起動し、以下のURLを入力します。

システムタイプ1の場合

```
http://(サーバーのアドレス)/s3/Type1/  
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。
```

システムタイプ2の場合

```
http://(サーバーのアドレス)/s3/Type2/  
サーバーのアドレスはシステムによって異なります。
```

ユーザー制限を設定している場合、ユーザー認証ダイアログ画面が表示されます。

2 ユーザー認証ダイアログ画面が表示された場合は、ユーザー名およびパスワードを入力します。

認証されると、indexページ (live001.html) が表示されます。

・画面左側に基本操作パネルが表示されます。⇨[基本操作パネル](#)

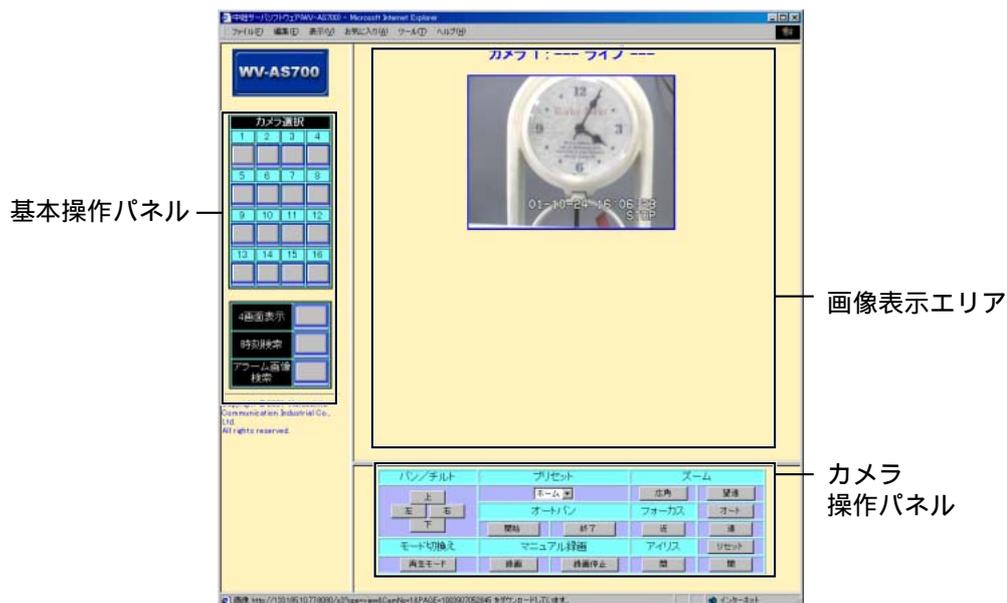
ユーザー制限を設定している場合・・・

ユーザー認証ダイアログ画面が表示されます。本ソフトウェアに登録されているユーザー名およびパスワードを入力してください。

【画面】ユーザー認証ダイアログ画面



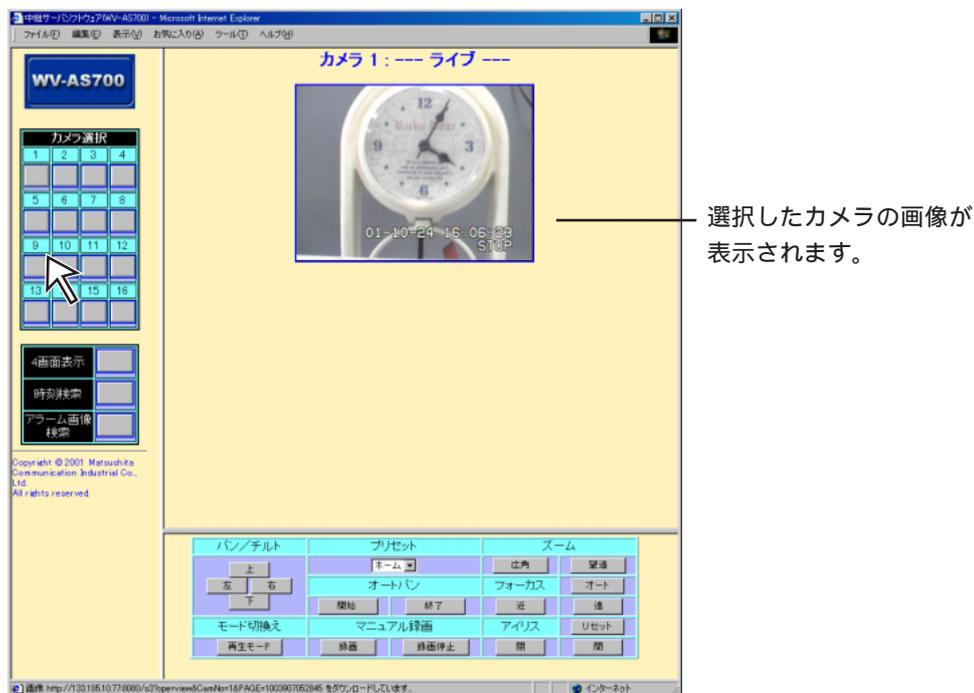
【画面】live001.html



live001.html画面の構成は、下表のとおりです。

名称	概要
制御パネル	各種操作を行うためのボタンが表示されます。
画像表示エリア	カメラの画像が表示されます。16画面、4画面、1画面表示が可能です。
カメラ操作パネル	1画面表示の場合で、選択したカメラ（または画像）が当社製カメラの場合にだけ表示されます。

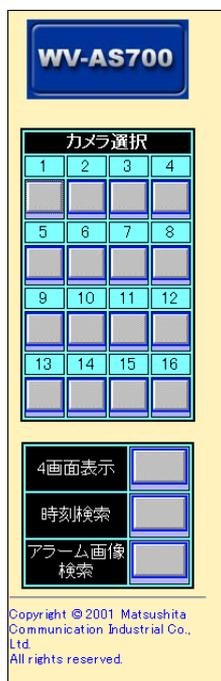
- 3** カメラ選択ボタンをクリックします。
 クリックしたカメラの画像が画像表示エリアに表示されます。



ライブモード画面

ユーザーは、このパネルで見たいカメラを選択したり、各種機能を実行したりできます。

【基本操作パネル】



画面の構成

基本操作パネルの構成は下表のとおりです。

項目	概要
カメラ選択	標準で16台までのカメラを選択できます。選択すると、選択したカメラの画像（カメラ個別画面）が画像表示エリア（基本操作パネルの右側）に表示されます。また、右側下段に表示されるカメラ操作パネルでカメラを操作できます。 👉カメラ選択画面
4画面表示	画像表示エリアに、4台までのカメラの画像を同時に表示できます。カメラ操作パネルは表示されません。 👉4画面表示
時刻検索	基本操作パネルが時刻検索画面に切り換わります。カメラ番号および日時を指定して、サーバーに録画されている画像を検索できます。 👉時刻検索
アラーム画像検索	カメラ選択画面がアラーム画像検索画面に換わります。カメラ番号および日時を指定して、該当する日時に発生したアラームの画像を検索できます。 👉アラーム画像検索

注 選択したカメラによっては操作できない場合があります（操作制限）。

カメラ選択・カメラ操作

ここでは、カメラ選択方法および選択したカメラの操作方法について説明します。標準HTMLでは16台までのカメラが選択できます。

カメラ選択

数字が表示されているボタンをクリックすると、クリックしたボタンに対応するカメラの画像が、画像表示エリアに表示されます。

【画面】1画面表示のカメラ画像とカメラ操作パネルの表示例

① 見たいカメラの番号をクリックする。

② 選択したカメラの番号と状態が表示される。

③ 選択したカメラの画像が表示される。

④ カメラ操作パネルが表示される。

WV-AS700

カメラ選択

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

4画面表示

時刻検索

アラーム画像検索

Copyright © 2001 Matsushita Communication Industrial Co., Ltd. All rights reserved.

カメラ 1: --- ライブ ---

01-10-24 16:06:23 STOP

パン/チルト

上	プリセット	広角	望遠
左	ホーム	フォーカス	オート
右	オートパン	近	遠
下	開始	終了	アイリス
モード切換え	再生モード	録画	録画停止
リセット		開	閉

画面 http://133.185.10.77:8080/s3?ope=view&CamNo=1&PAGE=1003907052845 をダウンロードしています。 インターネット

注 カメラが接続されていない番号を選択すると、ブルー画面またはリンク切れを表すアイコンが表示されます。

カメラ操作パネル

ライブ画像を表示しているとき（ライブモード時）にだけ操作できます。



□カメラ操作パネルは・・・□

- ・ユーザータイプが「モニター」ユーザーでアクセスした場合、カメラ操作および手動録画機能を行うと、ユーザー認証ダイアログ画面が表示されます。ユーザータイプが「オペレーター」のユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー認証ダイアログ画面が表示された後に、操作を中止するときはWWWブラウザを強制終了してください。強制終了のしかたは使用するパソコン（OS）によって異なりますので、ご使用になるOSの操作説明書をお読みください。
- ・ネットワークインターフェースユニットでコントロール可能なカメラが接続されている場合、カメラ操作パネルのボタンをクリックして、パン/チルト、ズーム、フォーカスなどを操作できます。

パン/チルト

カメラ操作パネルにあるパン/チルトボタンをクリックすると、カメラが上下左右に動きます。

画像表示エリアに表示されているライブ画像の上辺、下辺、右辺、左辺をクリックしてカメラを動かすこともできます。移動量は、画面の中央からの距離に応じて変わります。画面の端付近をクリックすると大きく動きます。画面中央付近をクリックした場合、カメラは動きません。

ボタンや画面を押し続けてパン/チルト操作をすることはできません。カメラを大きく動かす場合は、再度ボタンをクリックしてください。

オートパン

カメラを自動回転させるときに使います。

[開始] ボタンをクリックするとカメラのオートパン動作を開始します。オートパンの動作はカメラによって異なります。

[終了] ボタンをクリックするとオートパン動作を終了します。カメラ操作パネルの他のボタン（マニュアル録画およびモード切換えは除く）を押しても終了します。

プリセット

接続しているカメラがプリセット動作に対応している場合、プリセット番号でカメラの撮影位置を移動できます。

1～64のプリセットポジション番号またはホームポジションを選択できます。

ズーム

[望遠] [広角] ボタンをクリックすると、カメラのズーム操作ができます。

ズーム操作ボタンは押し続けることはできません。ズーム操作を繰り返す場合は、再度ボタンをクリックしてください。

フォーカス

カメラのフォーカスを調節します。

近くの被写体にフォーカスを合わせるときは [近] ボタンをクリックします。

遠くの被写体にフォーカスを合わせるときは [遠] ボタンをクリックします。

[オート] ボタンをクリックすると、表示中の画像に対してオートフォーカスが働きます。

なお、フォーカス操作ボタンを押し続けることはできません。フォーカス操作を繰り返す場合は、再度ボタンをクリックしてください。

アイリス

カメラのアイリス（絞り）を調節します。一般的に背景をくっきりと撮影する、または明るい場所を撮影するときはアイリスを閉じます。

[開] ボタンをクリックするとアイリスが開き、被写界深度が浅くなります。

[閉] ボタンをクリックするとアイリスが閉じ、被写界深度が深くなります。

なお、アイリス操作ボタンを押し続けることはできません。アイリス操作を繰り返す場合は、再度ボタンをクリックしてください。

マニュアル録画 **タイプ1**

表示されているカメラの画像をサーバー上のハードディスクに録画できます。

録画 : クリックすると、録画を開始します。

録画停止 : 録画を停止します。

手動で録画した画像は、アラーム領域に録画されます。録画のレートは1fpsに設定されます (live001.html の場合)

注 あるユーザーがマニュアル録画で録画しているときに、他のユーザーが録画停止要求をすると、マニュアル録画は停止します。

マニュアル録画中に本ソフトウェアの終了、再起動を行った場合、次回起動時に自動的にマニュアル録画の開始は行いません。

モード切換え **タイプ1**

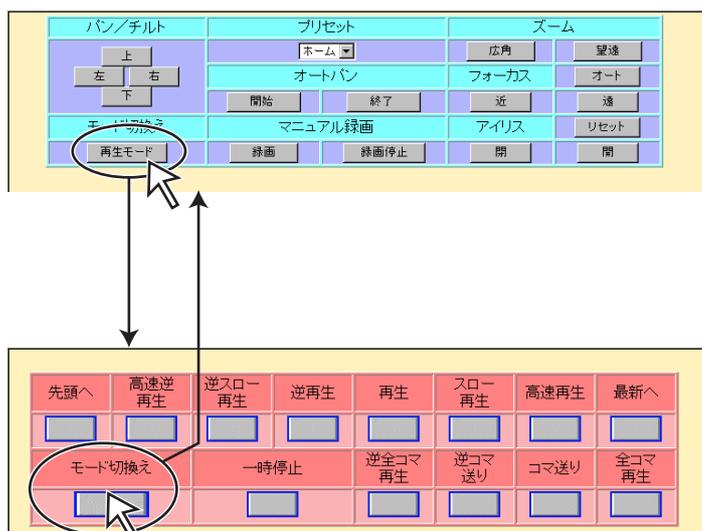
再生モードに切り換えるときにクリックします。再生モードに切り換えると、サーバーに録画されている画像を再生できます。このとき、カメラ操作パネルは、再生操作パネルに切り換わります。 [録画画像の再生](#)

再生モード画面 タイプ1

録画画像を再生するには、つぎの2とおりの方法があります。

- (1) カメラ操作パネルのモード切換えボタン（再生モード）をクリックする。
カメラ操作パネルが再生パネルに切り換わります。☞再生操作パネル

【画面】カメラ操作パネル 再生操作パネル



- (2) 時刻検索またはアラーム画像検索の検索結果画面から、再生したい画像を選択してクリックする。
クリックすると録画画像の再生が開始されます。

再生が終了すると、録画終端点画面が表示されます。この画面が表示されたら、再生を停止してください。

【画面】録画終端点



注 WWWブラウザを起動後に再生すると、録画レコードの最終数フレーム再生後、録画終端点に到達し、上記画面が表示されます。

再生操作パネル

再生、逆再生、巻き戻し再生、早送り再生、一時停止、コマ送り、逆コマ送り等の再生操作が可能です。



再生・逆再生

録画したときと同じレートで再生（逆再生）を行います（例：30秒分の画像データは30秒かけて再生します）。

ネットワーク等の環境によっては、画像を読み飛ばして再生します。このため、全ての画像が再生されない場合があります。

全コマ再生・逆全コマ再生

録画したすべての画像データを連続的に表示します。標準HTMLでは0.2秒間隔でつぎの画像を表示します。再生と違い、実時間との関連はありません。

最新へ・先頭へ

最も新しい画像データ（最新へ）または最も古い画像データ（先頭へ）から再生します。

スロー再生・逆スロー再生

再生速度を落として再生・逆再生を行います。

高速再生・高速逆再生

VTRの早送り再生・巻き戻し再生のように高速に再生・逆再生を行います。

一時停止

表示を一時停止します。

一時停止状態で再度押すと、一時停止解除となります。一時停止を解除すると、一時停止状態になる以前の動作となります。例えば巻き戻し再生から一時停止した場合、一時停止を解除すると、巻き戻し再生となります。

コマ送り・逆コマ送り

一時停止状態から直後の画像（逆コマ送りの場合は直前の画像）を表示し、一時停止状態になります。

再生中や早送り中など一時停止以外の状態からはコマ送り、逆コマ送りのボタンをクリックしても無視されます。

モード切換え

ライブモードに切り換えるときにクリックします。ライブモードに切り換えると、現在カメラが撮影している画像を確認できます。このとき、再生操作パネルは、カメラ操作パネルに切り換わります。👉[カメラ操作](#)

4画面表示

基本操作パネルの4画表示ボタンをクリックすると、画像表示エリアに4画表示画面を表示します。カメラ操作パネルは表示されません。

【画面】4画面表示例



カメラ選択

4画面表示時に表示されている画面をクリックすると、クリックしたカメラの画像を1画面で表示します。また、基本操作パネルのカメラ選択ボタンをクリックして1画面表示にすることもできます。

1画面表示にすると、カメラ操作パネルが表示されます。☞[カメラ操作](#)

4画送り

4画送りボタンをクリックすると(1~4) (5~8) (9~12) (13~16) (1~4)のように、4画面ずつ同時に映像を確認しながら表示画像を切り換えることができます。

注 カメラが接続されていない番号は、ブルー画面またはリンク切れを表すアイコンが表示されます。

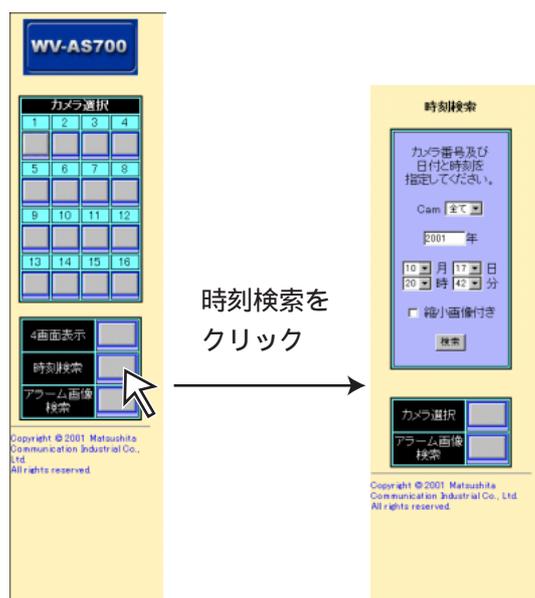
時刻検索 タイプ1

基本操作パネルの時刻検索ボタンをクリックすると、基本操作パネルが時刻検索画面に換わります。

この画面で、カメラ番号、日にち、時刻をキーに画像を検索できます。

- 注 操作制限のあるカメラの場合：モニターはこの機能を利用できません。
操作制限のないカメラの場合：モニター、オペレータ共に利用可能です。

【画面】



時刻検索画面の構成は、下表のとおりです。

項目	概要
Cam	検索したいカメラ番号を選択します。
年、月、日	年、月、日をそれぞれ指定します。
時、分	時、分をそれぞれ指定します。
縮小画像付き	検索結果と一緒に縮小画像（サムネイル）を表示したい場合チェックします。
検索	検索を開始します。

検索ボタンをクリックすると、基本操作パネルに検索結果が表示されます。
表示された検索結果をクリックすると、検索結果の位置から再生が開始されます。

【画面】時刻検索結果例

「時刻検索」の結果

Cam : 1
2001年10月01日
20時00分付近の画像

検索結果:1件

[2001年10月01日](#)
[20時00分00秒](#)

クリックで再生します。

[条件入力に戻る](#)
[アラームログ](#)
[カメラ選択](#)

テキスト表示

「時刻検索」の結果

Cam : 1
2001年10月01日
20時00分付近の画像

検索結果:1件



[2001年10月01日](#)
[20時00分00秒](#)

クリックで再生します。

[条件入力に戻る](#)
[アラームログ](#)
[カメラ選択](#)

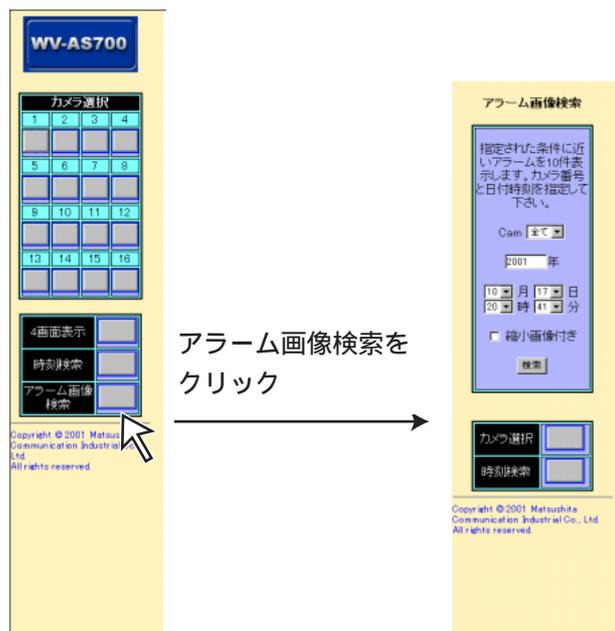
縮小画面表示

アラーム画像検索 タイプ1

指定したカメラ、指定した時刻周辺のアラームログを表示する機能です。

- 注 操作制限のあるカメラの場合：モニターはこの機能を利用できません。
操作制限のないカメラの場合：モニター、オペレータ共に利用可能です。

【画面】アラーム画像検索画面



アラーム画像検索画面の構成は、下表のとおりです。

項目	説明
Cam	検索対象となるカメラ番号を選択します。
年、月、日	年月日をそれぞれ指定します。
時、分	時、分をそれぞれ指定します。
縮小画像付き	検索結果と一緒に縮小画像（サムネイル）を表示したい場合チェックします。
検索	検索を開始します。

検索ボタンをクリックすると、基本操作パネルに検索結果が表示されます（最大10件まで表示）。

表示された検索結果をクリックすると、検索結果の位置から再生が開始されます。

最新のアラーム画像を表示する場合、検索結果の下にある「最新のアラーム画像」をクリックしてください。この場合、すべてのカメラが対象となります。

【画面】アラーム画像検索結果例

アラーム画像:
Cam : 1
2001年10月17日
20時43分付近のログ

検索結果:10件

[2001年10月17日
13時19分44秒](#)

[2001年10月17日
13時13分23秒](#)

[2001年10月17日
13時02分04秒](#)

[2001年10月17日
12時00分08秒](#)

[2001年10月17日
11時47分02秒](#)

[2001年10月17日
11時46分57秒](#)

[2001年10月17日
11時42分07秒](#)

[2001年10月17日
11時42分06秒](#)

[2001年10月17日
11時42分06秒](#)

[2001年10月17日
11時42分06秒](#)

クリックで再生します。

[次の10件
最新のアラーム画像](#)

[条件入力に戻る
時刻検索条件入力
カメラ選択](#)

テキスト表示

アラーム画像:
Cam : 1
2001年10月18日
21時38分付近のログ

検索結果:10件


[2001年10月17日
13時19分44秒](#)


[2001年10月17日
13時13分23秒](#)


[2001年10月17日
13時02分04秒](#)


[2001年10月17日
11時42分06秒](#)


[2001年10月17日
11時42分06秒](#)

クリックで再生します。

[次の10件
最新のアラーム画像](#)

[条件入力に戻る
時刻検索条件入力
カメラ選択](#)

縮小画面表示

こんなときには

ここでは、システム操作中に起こったトラブルの対処方法について説明します。トラブルが起こった場合、「対処方法」欄に記載されている手順に従って対処し、再度操作して確認してみてください。

対処してもトラブルが解消しないときは、販売店にご相談ください。

現象	対処方法
ユーザー認証パネルをキャンセルしても新しいユーザー認証パネルが表示される	WWWブラウザ（ソフトウェア）を強制終了してください。強制終了のしかたは、お使いのOSによって異なります。OSに付属されている説明書をお読みください。
画像が取得できない	中継サーバーソフトウェアが起動されていない可能性があります。管理者に、中継サーバーソフトウェアが起動されているか確認してください。
カメラ画像は見えるが、カメラを操作できない	<ul style="list-style-type: none"> そのカメラは誰かが操作している可能性があります。しばらくしてから再度操作してください。 オペレータ以上のユーザでないとお操作ができないように操作制限がかかっている可能性があります。ご自分のユーザタイプが分からない場合は管理者にお問い合わせください。
再生できない、録画できない、検索できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作しているカメラのアクセス権はありますか？アクセス権があるにもかかわらず、左記状態になるときは管理者にお問い合わせください。
ブルー画面（または固定のbitmap）が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ライブ停止スケジュール機能によるブルーバック表示処理ではありませんか？ ネットワーク等の障害発生により表示されることがまれにあります。ネットワーク管理者またはシステム管理者にお問い合わせください。
HTMLが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> WWWブラウザの設定でJavascriptを無効にしているませんか？ ファイアーウォールやプロキシの設定によっては、正しく表示されないことがあります。
再生画像が表示されない、または再生画像にカメラ番号、時刻が表示されない	Javaアプレットが使用可能になっていますか？

管理編

本編では以下の内容を説明します。

- ・ 周辺機器の準備、本ソフトウェアのインストールのしかた
Turbolinux Serverに、本ソフトウェアをインストールする方法、カメラ画像を録画する録画領域の確保方法を説明しています。Turbolinux ServerおよびApache HTTP Serverに関する知識が必要です。
- ・ 管理機能
本ソフトウェアを使用するための環境の設定方法を説明しています。WWWブラウザの操作に関する知識が必要です。
- ・ HTMLのカスタマイズ
HTMLをご使用になるシステムに合わせて作成するために必要なURLおよびCGIの指定方法について説明しています。HTMLおよびCGIによるパラメータの受け渡しに関する知識が必要です。
- ・ 本ソフトウェアのアンインストールのしかた
本ソフトウェアが不要になったとき、Turbolinux Serverから削除する方法について説明しています。

周辺機器の準備

ここでは、本システムに必要なネットワークインターフェースユニットおよびカメラの設定方法について説明します。

注 本書では、本ソフトウェアでネットワークインターフェースユニットおよびカメラを使用する場合の注意点についてのみ説明しています。詳しい設定方法は各機器の取扱説明書をお読みください。

ネットワークインターフェースユニットの設定

ここでは、ネットワークインターフェースユニット設定時の注意点について説明します。詳細は、ネットワークインターフェースユニットの取扱説明書をお読みください。

なお、ネットワークインターフェースユニットを複数台使用する場合は、各ユニットごとに設定する必要があります。

動作モードについて

ネットワークインターフェースユニットに接続するカメラの台数によって、動作モードはつぎのように設定してください。

- ・ネットワークインターフェースユニット1台にカメラを1台接続する場合
1ch固定モードに設定してください。
- ・ネットワークインターフェースユニット1台にカメラを複数台接続する場合
4 to 4モードに設定してください。

注 4to1モードに設定すると、本ソフトウェアの設定とは異なる映像が表示されたり、録画されたりすることがあります。

本ソフトウェアのアラーム機能を使用する場合

アラーム通知機能を使用する場合、つぎに示すようにWJ-NT104のアラーム通知を設定してください。

- ・アラーム通知（独自プロトコル）「独自プロトコルの有無」を「使用する」にしてください。
- ・「通知先IPアドレスの登録」に本ソフトウェアが動作するサーバーPCのIPアドレスを登録してください。

ユーザー認証

本ソフトウェアをインストールした直後は、ネットワークインターフェースユニットの「ユーザー認証を使用しない」に設定されています。

ユーザー認証を使用する場合は、本ソフトウェアの設定（「映像取得ユーザー」および「映像取得パスワード」）を変更してください。

カメラの設定

カメラはネットワークインターフェースユニットの映像入力端子に正しく接続してください。

ここでは、本ソフトウェアの機能を使用しカメラを操作するために必要な設定上の留意点について説明します。カメラの設定メニューの操作方法は、お使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。

当社製コンビネーションカメラを使用する場合

当社製コンビネーションカメラを使用すると、あらかじめプリセットされている撮影位置を番号で呼び出して撮影したり、自動的に一定の撮影位置に戻るよう設定したりできます（プリセット機能）。

プリセット機能を使用する場合は、カメラの設定メニューで以下の設定を行う必要があります。

- ・プリセット番号の設定
- ・ホームポジション

□ カメラ設定時の注意 □

- ・本ソフトウェアのアラーム機能はネットワークインターフェースユニットのアラーム出力にのみ対応しています。カメラが映像ケーブルに重畳して出力するアラーム（モーションディテクターなど）には対応していません。
- ・他社または他人のプライバシーを侵害しないよう、撮影場所には十分に注意してください。当社製コンビネーションカメラにはプライバシーゾーン設定機能があります。プライバシーを侵害する恐れがある場合、本機能を使用し、該当個所が撮影されないよう設定してください（機種によっては設定できないカメラもあります）。

インストール

本ソフトウェアをインストールするためには、Turbolinux Serverの知識が必要です。また、ネットワークから本ソフトウェアにアクセスできるようにするためには、Apache HTTP Serverに関する知識が必要です。

注 Turbolinux Serverへの本ソフトウェアのインストール、録画領域の確保、およびアンインストールは、root権限で行う必要があります。

作業概要

本ソフトウェアを使用するためには、以下の作業を行う必要があります。

- ・システムタイプの決定
- ・ディレクトリ構成の確認
- ・インストールスクリプトの実行（アーカイブファイルを展開してインストール）
- ・録画領域の確保 **タイプ1**
- ・本ソフトウェアの起動
- ・本ソフトウェアの管理

システムタイプの決定

本ソフトウェアには、下表に示す2つの動作モードがあります。システムタイプによって必要な作業が異なります。

表 システムタイプ

タイプ	概要
システムタイプ1	カメラの画像のライブ配信および録画を行うことができます（サーバー上に録画領域を確保する必要があります）。 録画された画像は後で再生することができます。また、必要な画像を検索して再生する、またはサーバー上のハードディスクにJPEGフォーマットの静止画としてコピーすることもできます。
システムタイプ2	ライブ配信のみ行う場合のモードです。録画・再生・検索・アラーム機能は使用できません。

なお、システムタイプは運用開始後、必要に応じて変更することができます。ただし、システムタイプ2からシステムタイプ1に変更する場合は、変更する前に、録画領域を確保しておく必要があります。

ディレクトリ構成

本ソフトウェアが使用するディレクトリは下表のとおりです。

表 ディレクトリ構成

ディレクトリ名	概要
/usr/local/s3/bin/	本ソフトウェアの実行ファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/usr/local/s3/	本ソフトウェアの設定ファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
\$HTMLPath/s3/Type1/	システムタイプ1用のHTMLファイルが格納されるディレクトリ
\$HTMLPath/s3/Type2/	システムタイプ2用のHTMLファイルが格納されるディレクトリ
\$CGIPath/s3/cfg/	管理用のCGIファイル等を格納するディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/run/	プロセスIDファイルを書き込むディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/log/s3/	アラームログ、アクセスログなどログファイルを書き込むディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/s3/etc/	録画領域管理情報が格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/S3_DATAxx/	タイプ1 カメラ画像を録画するための領域（録画領域） このディレクトリは、インストール後、管理者が用意する必要があります。 ディスクは最大16台使用可能です。 xx：2けたの数値（例：S3_DATA00, S3_DATA01など）

- 注
- ・本ソフトウェアで使用する録画領域（カメラ画像を録画する領域）は、OSや実行ファイルが格納されているパーティションとは別パーティションに割り当ててください。同じパーティションに割り当てるとレスポンスが悪化することがあります。
 - ・HTMLファイルおよびCGIが格納されるディレクトリのパスはお客様の環境に依存します。
 - ・ディレクトリ名は変更しないでください。
 - ・各ディレクトリにインストールされたファイルは削除しないでください。

インストールのしかた

CD-ROMのマウント

本ソフトウェアが入っているCD-ROMをセットします。その後、以下のコマンドを入力してマウントし、ディレクトリをCD-ROMに移動します。

```
#mount /mnt/cdrom
#cd /mnt/cdrom
```

アーカイブファイルを展開する

CD-ROMにあるアーカイブファイルを展開し、必要なファイルをインストールします。

1 マウントしたCD-ROM内のインストールスクリプトを起動します。

```
日本語表示可能なターミナルでインストールする場合
#./s3inst_j
日本語表示できないターミナルでインストールする場合
#./s3inst
```

- ### 2 環境パラメーターを入力する。
- スクリプトを起動すると、本ソフトウェアは起動に必要な環境パラメーターを問い合わせます。
- ・Linuxのデフォルトパス以外にインストールする必要がある場合は、インストール先を入力後、リターンキーを押してください。
 - ・Linuxのデフォルトパス ([] 内の表示) にインストールする場合は、何も入力せずに、リターンキーを押してください。
- ### 3 管理者用 (admin) のパスワードを入力する。
- 本ソフトウェアを管理するための管理者用パスワードを入力します。このパスワードは2回入力する必要があります。
- 入力した内容が一致しない場合、インストールスクリプトは中断されます。中断したときは、手順1から再実行してください。
- ### 4 サーバー起動時、本ソフトウェアの自動起動を行うかどうかを入力する。
- ・自動起動を行う場合は、「y」を入力します。「y」を入力すると、自動起動するための記述が/etc/rc.d/rc.localに追加されます。
 - ・自動起動を行わない場合は、「n」を入力します。この場合、手動で起動する必要があります。☞[中継サーバーソフトウェアの起動](#)

- 5** 入力したパラメーターを確認する。
すべての入力完了すると、確認メッセージが表示されます。表示された情報でインストールする場合は「y」を入力します。
表示情報を変更する場合は、「n」を入力します。「n」を入力するとインストールスクリプトは中断されます。中断したときは、手順1から再実行してください。

CD-ROMのアンマウント

Linuxへのインストール終了後、以下のコマンドを入力し、CD-ROMをアンマウントしてください。

```
#cd /  
#umount /mnt/cdrom
```

録画領域の確保 タイプ1

本ソフトウェアをシステムタイプ1で使用する場合、Turbolinux Server OS上で録画領域を確保する必要があります。録画領域は、以下の機能を使用する場合、必ず確保する必要があります。

- ・スケジュール録画
- ・アラーム録画
- ・手動録画（マニュアル録画）

録画領域確保後、管理者用メニューでカメラごとに画像を録画する領域を設定する必要があります。

注 ライブ配信サービスのみ行うシステムで使用する場合（システムタイプ2）、録画領域を確保する必要はありません。

録画用ディスクの用意

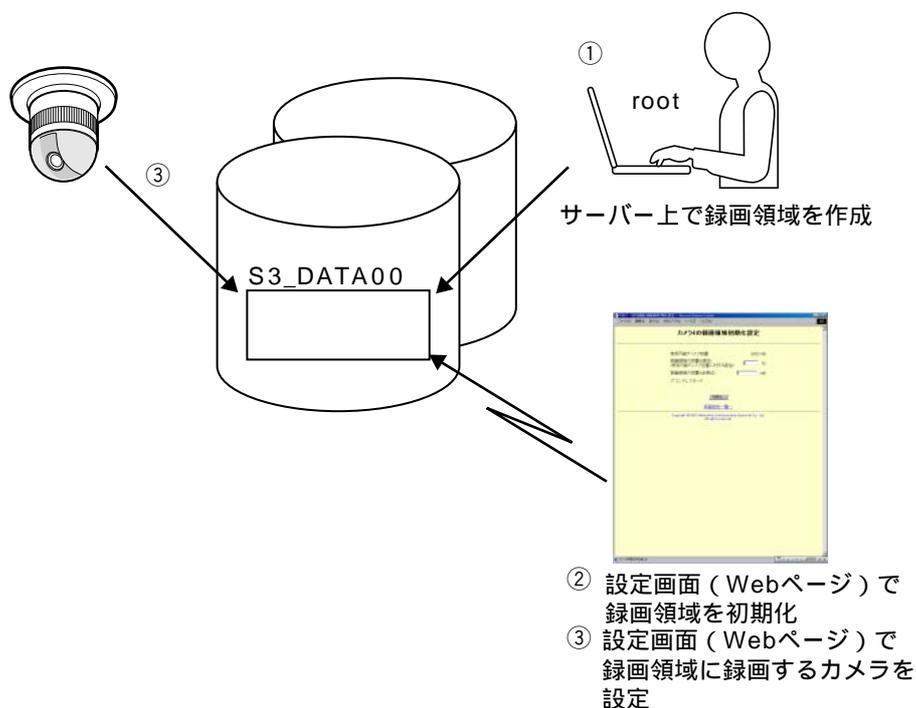
できるだけカメラ画像の録画用に、専用のハードディスクを用意してください。
サーバーソフト（Turbolinux Serverおよび本ソフトウェア）または他のソフトウェアが格納されているディスクを使用するとレスポンスが悪化することがあります。

注 録画領域は、できるだけ別のハードディスクに新規パーティションとして割り当ててください。
既存のパーティションに録画領域を確保する場合は、ディレクトリを作成し、シンボリックリンクを設定する必要があります。

新規にパーティションを用意する場合

新規にパーティションを作成する場合、/S3_DATAxxという名前でマウントしてください
(例：/S3_DATA00、/S3_DATA01など)

注 /S3_DATAxx以外の名前のパーティションは本ソフトウェアで認識できません。



既存のパーティションを使用する場合

既存のパーティションを使用する場合、つぎの操作が必要です。

- 1 既存のパーティションに、mkdirコマンドでS3_DATAxxディレクトリを作成します。
注 S3_DATAxx以外の名前のディレクトリは本ソフトウェアで認識できません。
- 2 /S3_DATAxxディレクトリが呼ばれたとき、手順1で作成したディレクトリに置き換えるシンボリックリンクを設定します。

例 /mnt2パーティションに、S3_DATA02ディレクトリを作成し、/S3_DATA02にシンボリックリンクを設定する場合、つぎのようにコマンドを入力します。

```
#mkdir /mnt2/S3_DATA02/  
#ln -s /mnt2/S3_DATA02 /
```

中継サーバーソフトウェアの起動

本ソフトウェアインストール後、最初の起動はサーバー上で行う必要があります。
本ソフトウェアの終了または再開は、WWWブラウザの管理者機能画面で行います。

注 管理者機能画面で、本ソフトウェアの環境を設定するためには、本ソフトウェアを起動する必要があります。

本ソフトウェアをインストールしたディレクトリで s3 を起動します。通常は、
/usr/local/s3/bin/にインストールされています。

```
#/usr/local/s3/bin/s3
```

注 本ソフトウェアインストール時、「Turbolinux Server起動時に本ソフトウェアを自動起動する」に
設定し、サーバーPCを再起動した場合は、上記操作を行う必要はありません。

自動起動または管理者機能で再起動を行うと、本ソフトウェアはバックグラウンドで動作します。
このため、ターミナルには何も表示されません。

インストール直後は以下の設定になっています。

項目	設定内容
カメラ	1台のみ
カメラのIPアドレス	192.168.0.10
カメラの所属グループ	なし
カメラの接続チャンネル	WJ-NT104の1ch
動作モード	常時接続モード
ユーザ	管理者グループのユーザ「admin」のみ
パスワード	インストール時に入力したパスワード
スケジュール	なし
アラーム機能	なし
カメラの設定	お客様の環境にあわせ、カメラの追加や設定変更を行います。 ⇨カメラの設定

録画領域の設定

録画領域の初期化

録画領域確保後、本ソフトウェアが録画領域にカメラの画像を録画するためには初期化を
行う必要があります。 [⇨録画領域の設定](#)

録画領域は、カメラごとまたは複数のカメラの領域を同時に初期化することができます。

録画領域の追加

ハードディスクの増設などの理由で録画領域を追加する場合は、管理者機能、録画領域設定で録画領域の追加を行います。☞[録画領域の設定](#)

領域のバックアップ

領域に録画された画像データをバックアップする場合、バックアップする領域を使用しているカメラの録画を一時停止する必要があります。☞[録画の一時停止・再開](#)

スケジュールの設定

必要に応じ、録画のスケジュール、ライブ配信停止のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定は、管理者用メニューの録画スケジュール設定またはライブ停止スケジュール設定で行います。

ライブ配信停止中、本ソフトウェアは、カメラ画像の代わりにあらかじめ設定した静止画像を配信します。

ライブ画像配信停止画像ファイルは、つぎに示すディレクトリに格納します。

```
/usr/local/s3/bin
```

ライブ配信停止画像ファイル（サンプル画像）は、インストール時にコピーされます。

必要に応じて、同じ名前のファイルを用意し、差し替えて使用することもできます。

差し替える場合、100kbyte以下（320pixel × 240pixelを推奨）の画像ファイルを用意してください。

表 画像サンプル

ファイル名	用途	画面の内容（メッセージ）
blue1.jpg	優先度1用	メッセージ「ライブ配信停止中」が表示されます。このメッセージは、優先度1のライブ停止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。
blue2.jpg	優先度2用	メッセージ「本日のサービスは終了致しました。」が表示されます。このメッセージは、優先度2のライブ停止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。
blue3.jpg	優先度3用	メッセージ「現在メンテナンス中です。しばらくお待ちください。」が表示されます。このメッセージは、優先度3のライブ停止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。
blue4.jpg	優先度4用	メッセージ「画像の取得に失敗しました。」が表示されます。このメッセージは、優先度4のライブ停止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。

ユーザーの登録

ユーザー設定画面でユーザーを登録します。 [☞ユーザー設定画面](#)
本ソフトウェアをインストールすると、以下のユーザが自動的に登録されます。

表 初期登録ユーザー

ユーザー名	パスワード	所属グループ
admin	インストール時に入力したパスワード	Admin

ユーザー登録時、つぎの内容に注意してください。

- ・一人のユーザーは複数のグループに属することはできません。
- ・ユーザー登録後に、ユーザーの名前を変更することはできません。名前を変更したい場合は、そのユーザーを削除し、新規にユーザーを作成してください。

□グループについて □

ユーザー設定画面で、ユーザーごとに設定するグループで、ユーザーが操作できる（または画像を見ることができる）カメラが決まります。 [☞解説編 ユーザー管理機能](#)

メール環境の整備

本ソフトウェアは、アラーム発生時など、本ソフトウェアに登録されているメールアドレスにメールを送信して知らせることができます（メール機能）
メール機能を使用する場合、サーバーにメール環境が整備されている必要があります。詳しくはお使いになるメールサーバーのマニュアル等を参照してください。

中継サーバーソフトウェアの終了

本ソフトウェアの終了は、管理者機能画面の「システム終了・再起動」で行います。

[☞システム終了・再起動画面](#)

「システム終了・再起動」画面でシステム終了ボタンをクリックすると終了します。
本ソフトウェアを終了すると、再起動するまで本ソフトウェアによる画像配信サービスは行われません。

注 システム終了ボタンをクリック後、終了確認の画面が表示されるのを確認してください。

警告 Ctrl + Cキーやkillコマンドなどで強制終了を行うと、本ソフトウェアが使用する録画領域の画像データが破壊されます。システムの終了は必ず管理者画面のシステム終了ボタンで行ってください。
録画領域の変更中など本ソフトウェアが処理を行っている場合、終了が受け付けられないことがあります。処理終了後にシステム終了操作を行ってください。

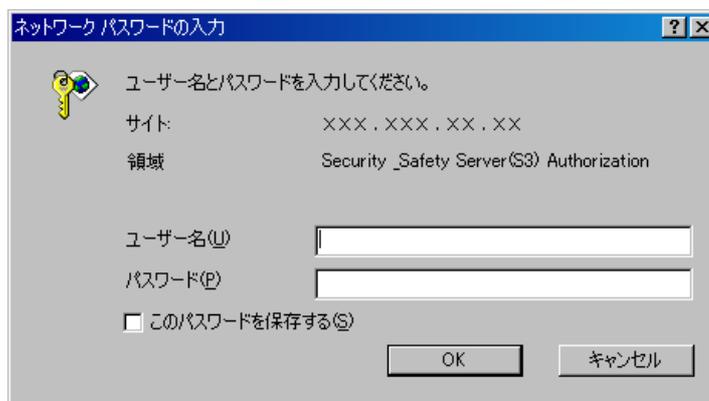
管理者機能

本ソフトウェアの設定を行うためには、WWWブラウザに以下のURLを入力すると、管理者機能画面を表示します。管理者機能画面で、本ソフトウェアの環境を設定します。

- 1 WWWブラウザ を起動し、以下のURLを入力します。

http:// (サーバーアドレス) /s3/cfg/ サーバーアドレスはお客様の環境によって異なります。

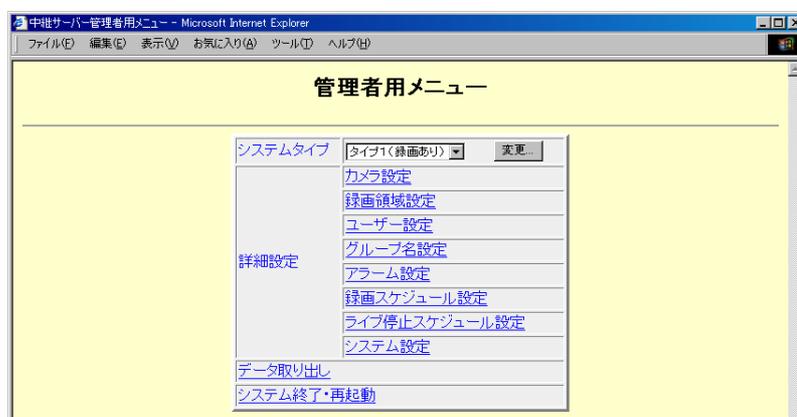
「ネットワークパスワード入力画面」が表示されます



: 本ソフトウェアを設定するときは、Internet Explorer 4.01以降で操作してください。その他のWWWブラウザでは正しく操作できないことがあります。

- 2 「ユーザー名」および「パスワード」を入力し、[OK] ボタンを押します。
本ソフトウェアの登録内容と一致すると管理者用メニューが表示されます。
ユーザー名 : 管理者グループに登録されているユーザー名を入力します。
パスワード : ユーザーのパスワードを入力します。

- 3 管理者用メニューで、設定または操作したい項目をクリックします。
クリックした機能の画面が表示されます。



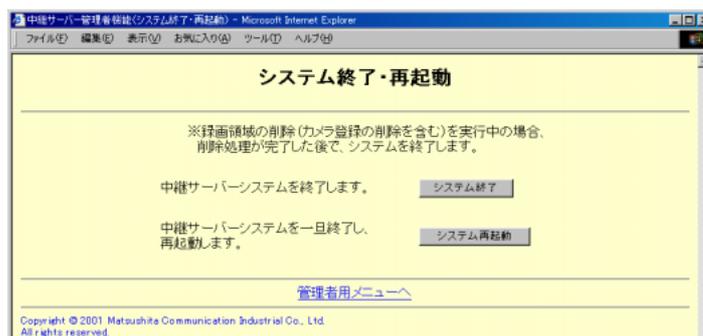
詳細は、「管理者用メニュー」をお読みください。 [管理者用メニュー](#)

- 4 表示された画面で設定または操作を行います。
- 5 設定を変更した場合、各画面の [設定更新] ボタンをクリックします。



「管理者用メニューへ」をクリックすると、管理者用メニューに戻ります。

- 6 再起動が必要な設定を変更した場合、「システム終了・再起動」をクリックします。「システム終了・再起動」画面が表示されます。



- 7 変更した内容を反映するには [システム再起動] ボタンをクリックします。本ソフトウェアを終了するときは [システム終了] ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されます。

【システム再起動をクリックした場合】



【システム終了をクリックした場合】



OK : 本ソフトウェアを終了または再起動します。
 キャンセル : システム終了・再起動画面に戻ります。

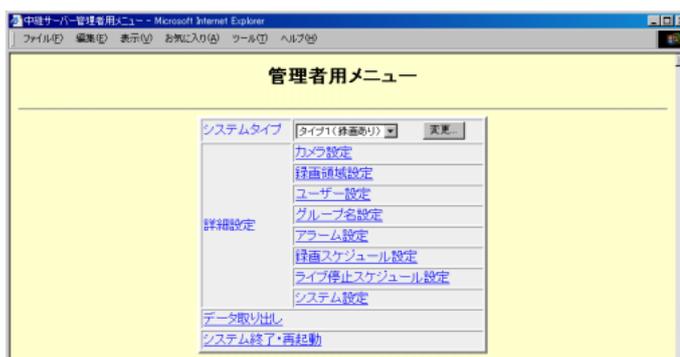
注 システムの設定を変更した後にシステムを終了した場合は、次回本ソフトウェアを起動したとき、変更した内容で動作します。

管理者用メニュー画面

WWWブラウザに、管理用のURLを入力します。

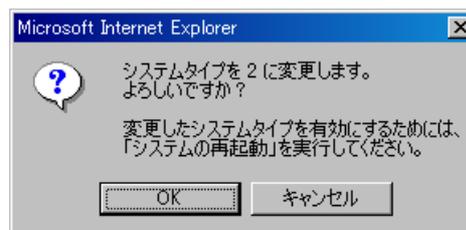
この画面の各項目をクリックすることによって、本ソフトウェアの各種設定画面を表示できます。

【画面】



【説明】

項目	表示される画面	説明
システムタイプ		システムタイプを設定します。タイプ1（録画あり）またはタイプ2（録画なし）を選択できます。システムタイプを変更する場合、タイプ1またはタイプ2を選択後 [変更] ボタンをクリックします。 [変更] ボタンをクリックするとポップアップウィンドウが表示されます（下図はタイプ2に変更した場合）。



つづく

続き

項目	表示される画面	説明
カメラ設定		登録されているカメラの一覧表示を行います。この画面で複数のカメラの追加、変更が可能です。
	個別カメラ設定*	カメラごとに、より細かい設定が可能です。登録されているカメラを削除することもできます。
録画領域設定 タイプ1		登録されているカメラの現在の状況を一覧表示します。
	一括初期化設定	インストール直後など、複数のカメラ用の録画領域を一括して初期化するための画面です。
	録画領域設定	カメラごとに録画領域を設定する画面です。
	録画領域初期化	録画領域の初期化を行うための画面です。
	録画領域追加	録画領域の追加を行うための画面です。
	録画領域削除	録画領域の削除を行うための画面です。
	アラーム録画領域の開放	アラーム録画または手動で録画したデータを削除し録画領域を開放するための画面です（削除した録画領域は新たにスケジュール録画で使用する領域として使用されます）。
	録画の一時停止	録画領域のバックアップ等を行うためにすべての録画を一時的に停止するための画面です。
ユーザー設定		登録されているユーザーの一覧を表示する画面です。
	個別ユーザー設定	登録済みのユーザーの設定変更および削除を行うための画面です。
	新規ユーザー設定	新規ユーザーを登録するための画面です。
グループ名設定		グループ名を変更するための画面です。
アラーム設定		アラーム発生時、本ソフトウェア動作設定を行うための画面です。
録画スケジュール設定 タイプ1		録画のスケジュール一覧を表示します。
	録画スケジュール設定	録画のスケジュール設定を行うための画面です。
ライブ停止スケジュール設定		ライブ停止機能のスケジュール一覧を表示します。
	ライブ停止スケジュール設定*	ライブ停止機能のスケジュール設定を行うための画面です。
システム設定		排他制御およびネットワークに関する設定を行うための画面です。
データ取り出し タイプ1		本中継サーバで録画された画像をJPEGフォーマットの静止画データとして取り出して、保存するための画面です。
システム終了・再起動		本中継サーバの終了、および再起動を行うための画面です。

注 の付いた画面はカメラごと、またはスケジュールごとにサブ画面が用意されます。

カメラ設定画面

この画面でカメラ登録状況を確認できます。また、カメラ番号をクリックすると、カメラごとにカメラの環境を設定する画面を表示できます。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ カメラ設定



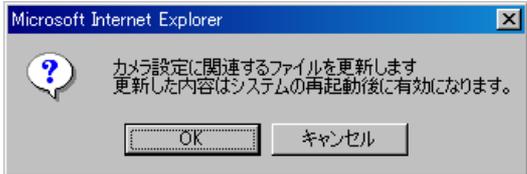
【説明】

この画面ではカメラの追加および登録してあるカメラの設定変更が可能です。カメラの削除はできません。個別カメラ設定画面で行ってください。

項目	説明
個別カメラ設定へのリンク	カメラ番号をクリックすると個別カメラ設定画面を表示します。 ⇨ 個別カメラ設定画面
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXXの形式でIPアドレスを入力します。
映像入力Ch	カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの画像入力チャンネルを指定します。 リストは1ch、2ch、3ch、4chの4種類。デフォルトで「1ch」が指定されます。
タイトル	各カメラにタイトルを付けることができます（必須ではありません）。 16文字までの文字列を入力できます。
ユーザー制限	カメラに対してユーザー制限をかけるかどうかを指定します。 「あり」に設定する場合、「グループ」欄にカメラが所属するグループを設定してください。同じグループに所属するユーザーのみが閲覧可能となります。 「なし」に設定すると、すべてのユーザーが閲覧可能となります。

つづく

続き

項目	説明
グループ	カメラの所属するグループを選択します。上のユーザー操作制限を「なし」に設定した場合、グループ指定は無効「-」となります。
設定更新	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>指定された内容で設定ファイルを更新します。 同時に、複数のカメラの設定変更が可能です（表示中の8台が対象）。 ただし、変更内容は再起動後から有効になります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
録画領域設定へ	録画領域設定画面を表示します。

注意事項

- ・本画面で設定した内容は本ソフトウェアの再起動後に有効になります。本ソフトウェアを再起動するまでは、以前の設定のまま動作します。
- ・設定更新ボタンを押さずに他の画面に移動した場合、設定は変更されません。

個別カメラ設定画面

カメラ設定画面のカメラ番号をクリックすると表示されます。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ カメラ設定 ⇨ カメラ番号

【説明】

カメラごとに下表の項目を設定します。

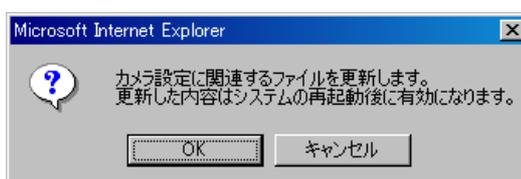
更新を反映するには本ソフトウェアの再起動が必要です。

項目	説明
タイトル	各カメラにタイトルを付けることができます（必須ではありません）。 16文字までの文字列を入力できます。
IPアドレス編集	xxx.xxx.xxx.xxxの形式でカメラのIPアドレスを入力します（xxxは0～255）。
チャンネル	カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの映像入力（1ch～4ch）チャンネルを指定します。 1ch～4chのいずれかを選択してください。デフォルトは1chです。
ユーザー制限	カメラに対してユーザー制限をかけるかどうかを指定します。ユーザー制限「あり」に設定した場合、下で指定するグループと同じグループに所属するユーザーのみが閲覧可能となります。「なし」に設定した場合はすべてのユーザーが閲覧可能です。

つづく

続き

項目	説明
グループ	カメラの所属するグループを選択します。上のユーザー操作制限を「なし」に設定した場合、グループ指定は無効となり、「-」となります。
映像取得間隔	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットからカメラ画像を取得する間隔を指定します。0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、120秒、180秒が選択可能です。デフォルトは1秒です。
映像取得ユーザー	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットにアクセスする際のユーザーを指定します。(ネットワークインターフェースユニット側で設定されているユーザーを設定してください)
映像取得パスワード	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットにアクセスする際のユーザーのパスワードを指定します。
映像取得モード	本ソフトウェアがネットワークインターフェースユニットから常時画像取得を行う(常時接続)か、該当のカメラに対してユーザーからアクセスがあった時のみ画像取得を行う(随時接続)かを設定します。
設定	クリックすると、確認メッセージが表示されます。



[OK] ボタン

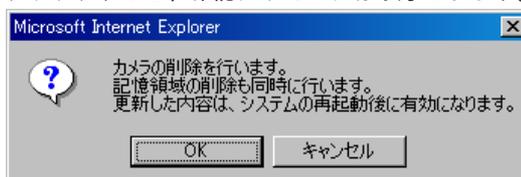
クリックすると、設定ファイルを更新します。ただし、変更内容は再起動後に有効になります。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、設定ファイルを更新せずに、個別カメラ設定画面に戻ります。

削除

クリックすると、確認メッセージが表示されます。



[OK] ボタン

クリックすると、表示しているカメラの情報が設定ファイルから削除されます。ただし、変更内容は再起動後から有効になります。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、カメラの情報を削除せずに「個別カメラ設定」画面に戻ります。

管理者用メニューへ 管理者用メニューに戻ります。

カメラ設定へ カメラ設定画面に戻ります。

□ 映像取得間隔について □

映像取得間隔を設定するときは、つぎの内容に注意してください。

- ・映像取得間隔に設定した時間内に映像を更新できない状態が頻繁に発生すると、画像が見づらくなることがあります。
- ・ユーザーが本ソフトウェアにアクセスし、一定時間(約3秒)経過しても画像を取得できなかった場合は、画像取得失敗を表すブルーバック画面が表示されます。

上記の現象が頻発するときは、映像取得間隔を大きく設定する必要があります。

録画領域設定（録画領域一覧） タイプ1

この画面で、録画領域の使用状況を確認できます。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画領域設定



カメラ	IPアドレス	入力Ch	タイトル	録画状況 (ASM)	録画容量	使用率	アラーム	エンドレスモード	特記事項
1	192.168.0.10	1 ch	camera1	●	100	100%	0.2%	ON	-
2	192.168.0.10	2 ch	camera2	○	2	0%	0%	OFF	-
3	192.168.0.10	3 ch	camera3	○	-	-	-	-	-
4	192.168.0.10	4 ch	camera4	○	-	-	-	-	-
5	-	-	-	○	-	-	-	-	-
6	-	-	-	○	-	-	-	-	-
7	-	-	-	○	-	-	-	-	-
8	-	-	-	○	-	-	-	-	-

【説明】

録画領域の現在の状態を表示します。この画面で設定することはできません。

項目	説明
カメラ	カメラ番号をクリックすると、つぎの画面を表示します。 録画領域が割り当て済みの場合 ⇨ カメラn用の録画領域設定画面 録画領域が未割り当ての場合 ⇨ カメラn用の録画領域初期化画面
IPアドレス	カメラのIPアドレスを表示します。
入力Ch	カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの映像入力チャンネルを表示します。
タイトル	カメラのタイトルを表示します。
録画状況	赤 がアラーム、 青 がスケジュール、 黒 が手動（マニュアル）による録画を表しています。 ○が録画していない状態 ●が録画している状態
録画容量（全体）	カメラごとに、割り当てられている録画容量をMB単位で表示します。

つづく

続き

項目	説明
使用率	カメラごとの録画領域全体に対する使用済み領域（通常録画領域+アラーム録画領域）の割合を%単位で表示します（小数点以下第1位まで）。
アラーム	カメラごとの録画領域全体に対するアラーム領域の割合を%単位で表示します（小数点以下第1位まで）。
エンドレスモード	エンドレスモードの状態が表示されます。
特記事項	録画領域の変更（録画領域の初期化、録画領域の追加、録画領域削除、アラーム録画領域の開放）の状態や録画領域に関する情報を表示します。
次ページへ	カメラ9～16の録画領域の使用状況が表示されます。
一括初期化へ	一括初期化画面を表示します。 ←一括初期化設定
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
カメラ設定へ	カメラ設定画面を表示します。

一括初期化設定画面 タイプ1

この画面で、録画領域を同時に初期化することができます。また、録画領域の容量を変更したり、エンドレスモードを設定したりできます。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画領域設定 ⇨ 一括初期化設定



【説明】

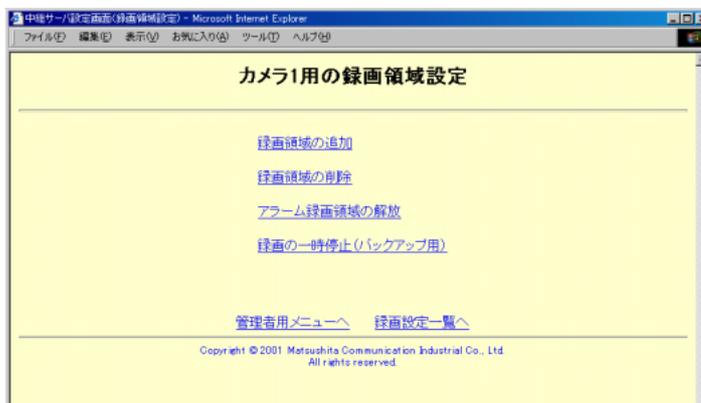
項目	説明
初期化対象	一括初期化を行うカメラチャンネルを指定します。チェックボックスをクリックしてチェックすると初期化対象となります。再度クリックするとチェックマークが消え、初期化対象外となります。
容量	録画容量として割り当てる容量をMB単位で指定します。
エンドレス	通常録画を上書き運用するかどうかを指定します。チェックするとエンドレスモードがONになり、通常録画領域がすべて使用されると、上書きして録画します（アラーム録画領域は上書きしません）。
空き容量	録画領域の空き容量（MB）を表示します。
設定更新	クリックすると、確認メッセージが表示されます。
	<p>Microsoft Internet Explorer</p> <p>新規に録画領域の追加を行いますか？ 「OK」を選択すると録画領域の初期化を開始します。 注)初期化が完全に終了するまで録画は開始しません。</p> <p>OK キャンセル</p>
	<p>[OK] ボタン</p> <p>クリックすると、一括初期化を開始します。[OK] ボタンをクリックしたあと、初期化を中止することはできません。</p> <p>[キャンセル] ボタン</p> <p>クリックすると、初期化せずに一括初期化設定画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
録画設定一覧へ	録画領域設定画面に戻ります。

カメラn用の録画領域設定画面 タイプ1

この画面で、カメラごとに録画領域に関する設定を行うための画面を表示することができます。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画領域設定 ⇨ カメラ番号



【説明】

下表の画面を表示できます。

項目	説明
録画領域の追加	つぎの画面を表示します。 録画領域が割り当て済みの場合 ⇨ カメラnの録画領域追加画面
録画領域の削除	カメラnの録画領域削除画面を表示します。
アラーム録画領域の開放	カメラnのアラーム録画領域の開放画面を表示します。
録画の一時停止	カメラnの録画一時停止
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
録画設定一覧へ	録画領域設定画面に戻ります。

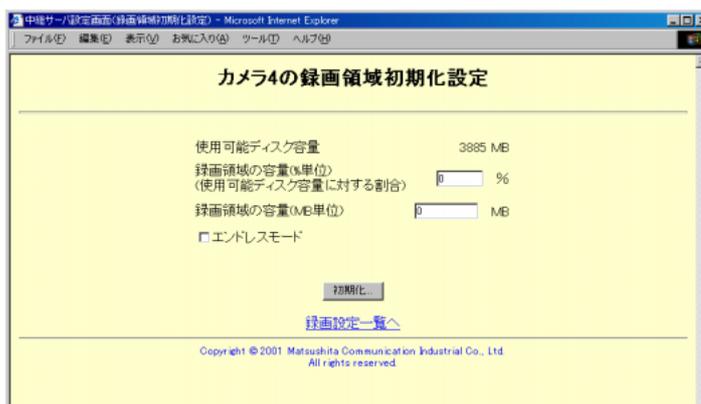
カメラnの録画領域初期化画面 タイプ1

この画面で、カメラnの画像を記録するための領域を確保し、初期化することができます。

注 既に録画領域が割り当てられている場合、この画面は表示されません。カメラに録画領域が割り当てられていない場合、初期化を行うことによって、録画領域に画像を録画するための領域を割り当てることができます。

【画面】

管理者用メニュー [録画領域設定](#) [カメラ番号](#)



【説明】

項目	説明
使用可能ディスク容量	画像記録領域の空き容量（MB単位）を表示します。ここに表示されている容量まで、カメラnの画像記録領域として割り当てることができます。
録画領域の容量(%単位)	カメラnの画像記録に使用するディスク容量を%で入力します。入力後、他の入力エリアに移動すると、録画領域の容量（MB単位）欄に実際に使用する容量が表示されます。
録画領域の容量(MB単位)	カメラnの画像記録に使用するディスク容量をMBで入力します。入力後、他の入力エリアに移動すると、録画領域の容量（%単位）欄に使用可能ディスク容量に対する割合が表示されます。
エンドレスモード	録画の上書きの可否を設定します。録画領域の初期化後にエンドレスモードを変えることはできません。 チェックするとエンドレスモードがONになり、録画領域をすべて使用すると上書きして録画します（アラーム録画領域は上書きしません）。
初期化...	初期化を開始します。 初期化時の動作
録画設定一覧へ	録画領域設定画面に戻ります。

□ 初期化時の動作 □

[初期化] ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。



注：メッセージに表示される時間はシステムによって異なります。また、システムによっては表示されている値より時間がかかる場合があります。

[OK] ボタン

クリックすると、初期化を開始します。[OK] ボタンをクリックしたあと、初期化を中止することはできません。

初期化中は録画領域設定画面の特記事項欄に「録画領域初期化中」と表示されます。

⇒ 録画領域設定画面

7	192.168.0.10	3 ch	7	○○○	200	100%	0%	ON	-
8	192.168.0.10	4 ch	8	○○○	-	-	-	-	録画領域初期化中

[キャンセル] ボタン

クリックすると、初期化しないでカメラnの録画領域初期化画面に戻ります。

カメラnの録画領域追加画面 **タイプ1**

この画面で、カメラn用に割り当てられている録画領域の容量を増やすことができます。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画領域設定 ⇨ 録画領域の初期化

【説明】

項目	説明
S3_DATAxx	カメラnが録画用に使用している録画領域の一覧を表示します。カメラ1台につき4領域まで割り当てることができます。右の容量欄に現在の容量が表示されます（MB単位）。
現在の録画容量	録画領域の使用量を表示します。
使用可能ディスク容量	本ソフトウェアで録画領域として割り当て可能なディスク領域の総容量を表示します。
追加録画容量（%単位）	カメラnの録画用に追加するディスク容量を%単位で入力します。入力後、他の入力エリアに移動すると、つぎに示す値が自動的に更新されます。 ・追加容量（MB単位）欄 ・追加後の録画容量欄
追加録画容量（MB単位）	カメラnの録画用に追加するディスク容量をMB単位で入力します。入力後、他の入力エリアに移動すると、つぎに示す値が自動的に更新されます。 ・追加容量（%単位）欄 ・追加後の録画容量欄
追加後の録画容量	カメラnの録画用に使用する容量（MB単位）を直接入力します。入力後、他の入力エリアに移動すると、追加録画容量（%単位およびMB単位）が自動的に更新されます。

つづく

続き

項目	説明
追加...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、録画領域の追加を開始します。領域追加処理の結果は録画領域設定画面で確認してください。⇨録画領域設定画面 ただし、変更内容は再起動後から有効になります。</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、録画領域を追加せずにカメラnの録画領域追加画面に戻ります。</p>
録画設定一覧へ	録画領域設定画面に戻ります。
カメラnの録画領域設定へ	カメラnの録画領域設定画面に戻ります。

カメラnの録画領域削除画面 **タイプ1**

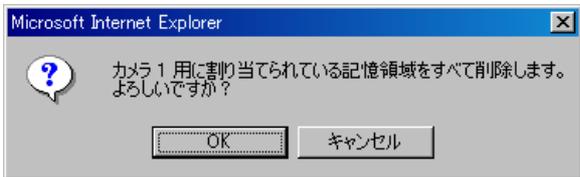
カメラnに割り当てられているすべての録画領域を削除します。削除処理の完了は録画領域設定画面で確認してください。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画領域設定 ⇨ 録画領域の削除



【説明】

項目	説明
現在、容量、合計	録画領域として割り当てられている領域のディレクトリパス、および容量とその合計を表示します。
削除...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。  <p>[OK] ボタン クリックすると、録画領域の削除を開始します。領域削除処理の結果は録画領域設定画面で確認してください。 ⇨ 録画領域設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、カメラの情報を削除せずにカメラnの録画領域削除画面に戻ります。</p>
録画設定一覧へ	録画領域設定画面に戻ります。
カメラnの録画領域設定へ	カメラnの録画領域設定画面に戻ります。

注意事項

「録画領域の削除」以外の方法でファイル (S3_DATAxx) を削除したり、ファイル内のデータを消去したりしないでください。

Unixのコマンドで録画領域ファイルを削除したり、データを消去したりすると、該当するパーティションに録画できなくなります。

カメラnのアラーム録画領域の開放画面 **タイプ1**

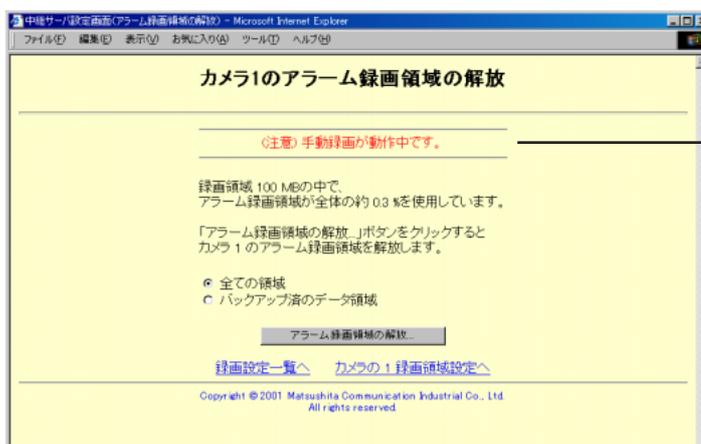
エンドレスモードで使用していても、アラーム画像は上書きされません。通常録画領域がすべてアラーム録画領域になると、通常録画で録画することができなくなります。この場合、アラーム録画領域を開放する必要があります。

アラーム録画領域を開放する場合、データ取り出し機能でバックアップ済の領域だけを開放することもできます。☞[データ取り出し](#)

アラーム録画領域の開放の完了は録画領域設定で確認してください。

【画面】

管理者用メニュー ☞ [録画領域設定](#) ☞ [アラーム録画領域の開放](#)



アラーム録画領域の使用状況

【説明】

項目	説明
全ての領域	録画されているアラーム画像すべてを開放の対象とします。
バックアップ済みのデータ領域	データ取り出し機能でバックアップ済みの領域だけを開放の対象とします。
アラーム録画領域の開放...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 
	<p>[OK] ボタン クリックすると、アラーム録画領域を開放します。処理の結果は録画領域設定画面のアラーム欄で確認してください。 ☞ 録画領域設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、アラーム録画領域を開放せずにカメラnのアラーム録画領域の開放画面に戻ります。</p>
録画設定一覧へ	録画領域設定画面 に戻ります。
カメラnの録画領域設定へ	カメラnの録画領域設定画面 に戻ります。

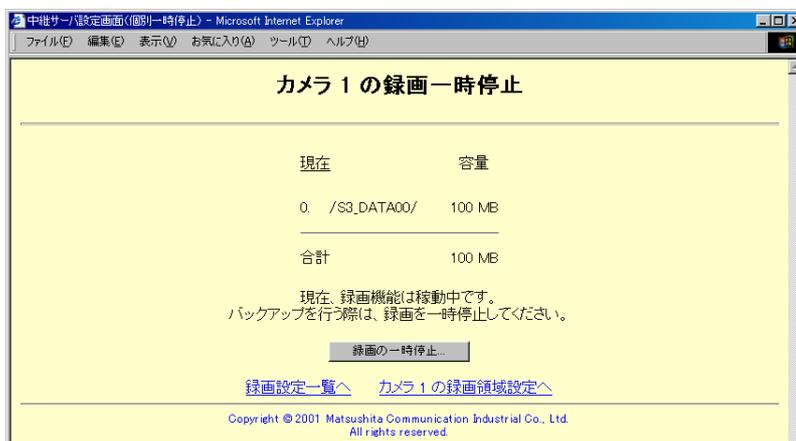
注 この画面で、録画領域に録画されている全カメラを対象として一度に開放することはできません。

録画の一時停止・再開画面（バックアップ用） **タイプ1**

録画領域のバックアップなどの操作を行う場合、ディスクへのアクセスを一時的に停止する機能です。停止中はアラーム録画をする設定でも実際には録画されないことに注意してください（ログのみ残ります）。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画領域設定 ⇨ カメラnの録画一時停止



【説明】

項目	説明
現在、容量、合計	選択しているカメラが使用している録画領域のディレクトリパス、容量および合計を表示します。
録画の一時停止...	録画を一時停止します。一時停止中は [録画の再開...] ボタンに換わります。
録画の再開...	一時停止を解除し、録画を再開します。録画中は [録画の一時停止...] ボタンが表示されます。
録画設定一覧へ	録画状況一覧画面に戻ります。
カメラnの録画領域設定へ	カメラnの録画領域設定画面に戻ります。

注意事項

「録画の一時停止...」ボタンをクリックし、録画を一時停止すると、[録画の再開...] ボタンをクリックするまで録画されません（自動再開機能はありません）。一時停止した場合、忘れずに [録画の再開...] ボタンをクリックして、録画を開始してください。

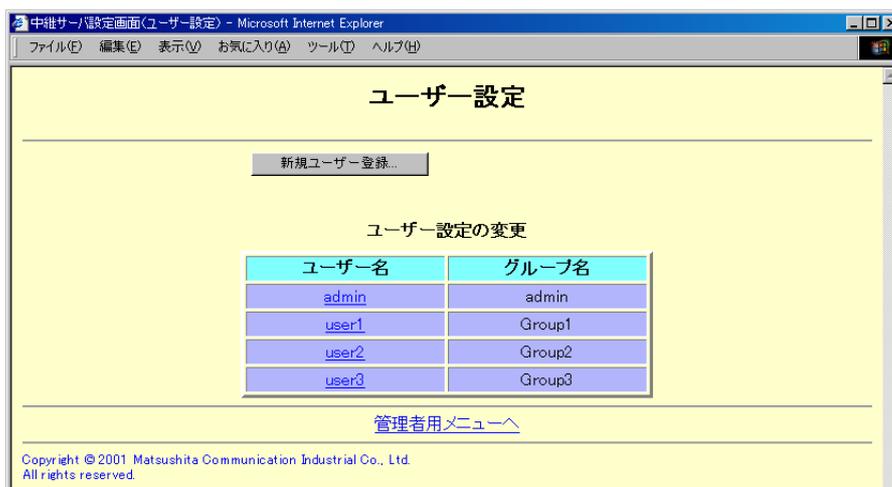
ユーザー設定（ユーザー一覧画面）

登録されているユーザーの一覧を表示します。

重要 管理者グループに所属するユーザーを必ず一人以上必ず登録してください（設定変更ができなくなるためです）。

【画面】

管理者用メニュー [ユーザー設定](#)



【説明】

項目	説明
新規ユーザー登録...	新規ユーザー登録画面を表示します。
ユーザー名	本ソフトウェアに登録されているユーザー名の一覧を表示します。クリックするとユーザー登録変更画面を表示します。
グループ名	ユーザーが所属しているグループ名を表示します。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

新規ユーザー登録画面

新規にユーザーを登録するための画面です。

【画面】

管理者用メニュー [⇨](#) ユーザー設定 [⇨](#) 新規ユーザー登録



【説明】

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を半角英数字32文字以下で入力します。 既に登録されているユーザーと同じ名前は使用できません。
新パスワード	パスワードを入力します。半角英数字32文字以下で設定してください
新パスワード確認入力	確認のため、上と同じパスワードを入力します。
グループ	ユーザーが所属するグループを選択します。管理者グループはすべてのカメラを閲覧、操作が可能です。管理者グループ以外を選択した場合、ユーザータイプで操作内容を設定します。
ユーザータイプ	カメラおよび録画操作を許可するまたは許可しないを設定します。 オペレーター：同じグループに属するカメラの画像をみる、カメラを操作する、録画・再生などを操作することができます。 モニター：同じグループに所属するカメラの画像を見ることができます。 ただし、カメラを操作したり、録画・再生操作はできません。
登録...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 
	<p>[OK] ボタン クリックすると、ユーザーを登録します。登録したユーザーは登録直後から本ソフトウェアにアクセスできます（再起動は必要ありません）。登録の結果はユーザー設定画面で確認してください。 ⇨ ユーザー設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、ユーザーを更新せずに新規ユーザー登録画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
ユーザー設定へ	ユーザー設定画面に戻ります。

ユーザー登録変更画面

登録されているユーザーのパスワードやグループなど、ユーザー登録情報を変更するための画面です。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ ユーザー設定 ⇨ ユーザー名

【説明】

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を表示します。名前は変更できません。
新パスワード	パスワードを設定します。パスワード保護のため、入力したパスワードは表示されません。
新パスワード確認入力	確認のため、上と同じパスワードを入力します。パスワード保護のため、入力したパスワードは表示されません。
グループ	ユーザーが所属するグループを選択します。管理者グループはすべてのカメラを閲覧、操作が可能です。管理者グループ以外を選択した場合、ユーザータイプで操作内容を設定します。
ユーザータイプ	カメラおよび録画操作を許可するまたは許可しないを設定します。 オペレーター：同じグループに属するカメラの画像を見る、カメラを操作する、録画・再生などすべての操作を行うことができます。 モニター：同じグループに所属するカメラの画像を見ることができます。ただし、カメラを操作したり、録画・再生操作はできません。

つづく

続き

項目	説明
設定更新...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。 ユーザー設定ファイルを更新します。更新直後から有効です。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、ユーザーを情報を変更します。変更内容は、変更直後から有効です（再起動は必要ありません）。登録の結果はユーザー設定画面で確認してください。⇨ユーザー設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、ユーザー情報を変更せずにユーザー登録変更画面に戻ります。</p>
削除...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン ユーザー名に表示されているユーザーを削除します。削除の結果はユーザー設定画面で確認してください。⇨ユーザー設定画面</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、ユーザーを削除せずにユーザー登録変更画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
ユーザー設定へ	ユーザー設定画面に戻ります。

グループ名設定（グループ名一覧）

グループ名の変更を行います。

グループは管理者用グループを除いて20個まで使用できます。

注 グループ名は削除できません。

【画面】

管理者用メニュー → グループ設定



【説明】

項目	説明
番号	グループの番号です。1～20までと管理者があります。
グループ名	現在のグループ名を表示します。半角英数字32文字以下で設定してください。
新グループ名	変更するグループ名を入力します。グループ名は英数字で入力してください。
設定更新...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。



[OK] ボタン

クリックすると、グループ名を変更します。変更内容は、変更直後から有効です（再起動は必要ありません）。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、グループ名を変更せずにグループ名設定画面に戻ります。

管理者用メニューへ 管理者用メニューに戻ります。

アラーム設定

アラーム発生時の本ソフトウェアの動作を設定します。

【画面】

管理者用メニュー [アラーム設定](#)

【説明】

項目	説明
Eメール通知	<p>アラーム発生時または映像取得失敗時にEメールを通知する / 通知しないを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接点アラームと映像取得失敗を通知する 接点アラーム発生時と映像取得失敗時に宛先に指定したアドレスに電子メールを通知してお知らせします。宛先欄に、通知先のEメールアドレスを入力してください。 ・接点アラームを通知する 接点アラーム発生時、宛先に指定したアドレスに電子メールを通知してお知らせします(映像取得失敗時は通知を行いません)。宛先欄に、通知先のEメールアドレスを入力してください。 ・映像取得失敗を通知する 映像取得失敗時、宛先に指定したアドレスに電子メールを通知してお知らせします(接点アラーム発生時は通知を行いません)。通知先のEメールアドレスを入力してください。 ・通知しない 電子メールでの通知を行いません。

続き

項目	説明
宛先 (Eメール)	アラームを通知するEメールアドレスを設定します。複数指定する場合は、コンマ(,)で区切って入力します。半角英数字で512文字まで入力できます。
差出人	Eメールの差出人を指定します。半角英数字最大128文字です。
TCP通知	アラーム発生時または映像取得失敗時にTCPでアラーム通知を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・接点アラームを通知する 接点アラーム発生時、宛先 (TCP通知) に指定した端末に通知します(映像取得失敗時は通知を行いません)。宛先欄に、通知先端末のIPアドレスを入力してください。 ・通知しない TCPでの通知を行いません。
宛先 (TCP通知)	TCPアラームの通知先端末を設定します。IPアドレスで指定します。複数指定する場合は、コンマ(,)で区切って入力します。宛先は、10箇所まで指定できます。
録画 タイプ1	アラームによる録画を行うかどうかを設定します。
録画時間 タイプ1	録画する時間を設定します。以下の値から選択できます。 1枚のみ、2秒、3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、90秒、120秒、180秒
録画インターバル	画像録画を行う間隔を指定します。以下の値から選択できます。 0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、120秒、180秒
設定更新...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。 <div data-bbox="667 999 1233 1187" data-label="Image"> </div> <p>[OK] ボタン クリックすると、設定ファイルを更新します。変更内容は、再起動後に有効です。</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、グループ名を変更せずにグループ名設定画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

録画スケジュール設定 タイプ1

録画スケジュールの確認、設定、消去を行います。スケジュールは20個まで設定可能です。

注意事項

ライブ停止スケジュールと録画スケジュールに同じ時間帯を設定すると、ライブ停止スケジュールが表示する画像が録画されます（録画領域を節約するため、自動的に画像を間引いて録画します）。

録画スケジュール一覧画面 タイプ1

設定されているスケジュールを一覧表示します。スケジュール番号をクリックすると録画スケジュール設定画面を表示します。

【画面】

管理者用メニュー [録画スケジュール設定](#)

番号	開始日時	終了日時	使用カメラ	録画間隔	優先度	コメント
1	月～金 08:00	月～金 19:00	*	3秒	3	平日設定
2	土日 08:00	土日 18:00	3,4	5秒	3	土日設定
3	----	----	-	----	-	-
4	----	----	-	----	-	-
5	----	----	-	----	-	-
6	----	----	-	----	-	-
14	----	----	-	----	-	-
15	----	----	-	----	-	-
16	----	----	-	----	-	-
17	----	----	-	----	-	-
18	----	----	-	----	-	-
19	----	----	-	----	-	-
20	常時	常時	*	10秒	5	ページ録り設定

番号をクリックすると設定画面に入ります。
赤字は、現在スケジュールが無効になっている項目を表しております。

[管理者用メニュー](#)

Copyright © 2001 Matsushita Communication Industrial Co., Ltd.
All rights reserved.

【説明】

項目	説明
番号	スケジュールの番号を表示します。クリックすると録画スケジュール設定画面を表示します。 録画スケジュール設定画面

つづく

続き

項目	説明
開始日時	スケジュールの開始日時を表示します。曜日+時刻の形式になっています。
終了日時	スケジュールの終了日時を表示します。曜日+時刻の形式になっています。
使用カメラ	使用するカメラ番号を表示します。
録画間隔	表示されている間隔で録画を行います。
優先度	優先度(1~5)を表示します。
コメント	コメントが表示されます。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

録画スケジュール設定画面 タイプ1

録画スケジュールを設定または消去します。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ 録画スケジュール設定 ⇨ スケジュール番号

【説明】

項目	説明
スケジュール番号	スケジュールの番号を表示します。
スケジュールの有効/無効	「無効」を選択すると、設定したスケジュールを無効にできます。「有効」をクリックすると設定したスケジュールが反映されます。
開始日時	スケジュールの開始日時を指定します。以下の値から選択できます。 曜日：月、火、水、木、金、土、日、月～金、土日、毎日。 時：0時～23時、毎時 分：0～55（5分刻み） 毎分 開始時刻、終了時刻に「毎日」、「毎時」、「毎分」を指定すると、本ソフトウェアが起動している間、録画を続けるスケジュールとなります。
終了日時	スケジュールの終了日時を指定します。 曜日、時刻の指定は開始日時と同じです。
カメラ番号	使用するカメラ番号を指定します。複数指定する場合は、コンマ(,)で区切って入力します。全カメラを対象にするときは、* (アスタリスク) を指定します。

つづく

続き

項目	説明
録画間隔	画像録画を行う間隔を指定します。以下の値から選択できます。 0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、120秒、180秒 (デフォルトは1秒です)
優先度	録画の優先度を指定します。(1~5) 1が高優先度です。
コメント	スケジュールに対するコメントを設定します。
設定更新...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、設定ファイルを更新します。変更内容は、約1分後から反映されます(再起動は必要ありません)</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、スケジュールを更新せずに録画スケジュール設定画面に戻ります。</p>
消去...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、表示されているスケジュールを消去します。変更内容は、約1分後から反映されます(再起動は必要ありません)</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、スケジュールを消去せずに録画スケジュール設定画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。
録画スケジュール一覧へ	録画スケジュール一覧画面に戻ります。

□ 優先度について □

スケジュール間で録画時間帯が重なった場合、優先度の高い録画スケジュールに従って録画します。優先度も同じときは、後に実行されたスケジュールに従って録画します。

注意事項

- ライブ停止スケジュールと録画スケジュールに同じ時間帯を設定すると、ライブ停止スケジュールが表示する画像が録画されます(録画領域を節約するため、自動的に画像を間引いて録画します)。
- 開始時刻、終了時刻に「*」を指定する場合は、以下の内容に注意してください。
 - ・「時」に「*」を指定する場合は、曜日も「*」を指定する必要があります。
 - ・「分」に「*」を指定する場合は、すべて「*」を指定する必要があります。
 - ・開始時刻および終了時刻に「*」を使用する場合は、同じ位置に指定する必要があります。
- 連続した時間で複数のスケジュールを設定した場合、処理の連続性は保証されません。スケジュールの間で、一時的に録画が中断されることがあります。
- 録画スケジュールの設定を変更すると、変更後のスケジュールが有効になるまで一時的に録画が中断されることがあります。

ライブ停止スケジュール設定

ライブ停止スケジュールとは、指定した時間にライブ画像の代わりに固定画像を表示する機能です。スケジュールは20個まで設定できます。

ライブ停止スケジュール一覧画面

設定されているスケジュールを一覧表示します。

スケジュール番号をクリックするとライブ停止スケジュール設定画面を表示します。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ ライブ停止スケジュール設定画面



番号	開始日時	終了日時	使用カメラ	画像優先度	コメント
1	月 07:00	月 17:00	*	1	*指定すると記録可能な全てのカメラ映像が対象になります。
2	月~金 08:15	月~金 08:30	1	2	無効にすると赤字になります。
3	---	---	---	---	---
4	---	---	---	---	---
5	---	---	---	---	---
6	---	---	---	---	---
7	---	---	---	---	---
8	---	---	---	---	---
9	---	---	---	---	---
10	---	---	---	---	---
11	---	---	---	---	---
12	---	---	---	---	---
13	---	---	---	---	---
14	---	---	---	---	---
15	---	---	---	---	---
16	---	---	---	---	---
17	---	---	---	---	---
18	---	---	---	---	---
19	---	---	---	---	---
20	---	---	---	---	---

番号をクリックすると設定画面に入ります。

赤字は、現在スケジュールが無効になっている項目を表しております。

[管理者機能TOPへ](#)

Copyright © 2001 Matsushita Communication Industrial Co., Ltd.
All rights reserved.

【説明】

項目	説明
番号	スケジュールの番号を表示します。クリックするとライブ停止スケジュール画面を表示します。 ⇨ ライブ停止スケジュール設定画面
開始日時	スケジュールの開始日時を表示します。曜日 + 時刻の形式になっています。
終了日時	スケジュールの終了日時を表示します。曜日 + 時刻の形式になっています。
使用カメラ	ライブ配信を停止するカメラの番号を表示します。
優先度	優先度 (1~4) を表示します。
コメント	スケジュールに対するコメントが表示されます。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

ライブ停止スケジュール設定画面

ライブ停止スケジュールを設定または消去します。

【画面】

管理者用メニュー ⇨ ライブ停止スケジュール設定画面 ⇨ スケジュール番号

【説明】

項目	説明
番号	スケジュールの番号を表示します。
スケジュールの有効/無効	「無効」を選択すると、設定したスケジュールを無効にできます。「有効」をクリックすると設定したスケジュールが反映されます。
開始日時	スケジュールの開始日時を指定します。以下の値から選択できます。 曜日：月、火、水、木、金、土、日、月～金、土日、毎日。 時：0時～23時、毎時 分：5～55（5分刻み） 毎分 開始時刻、終了時刻に「毎日」、「毎時」、「毎分」を指定すると、本ソフトウェアが起動している間、ライブ停止を続けるスケジュールとなります。
終了日時	スケジュールの終了日時を指定します。曜日、時刻の指定は開始日時と同じです。
使用カメラ	使用するカメラ番号を指定します。複数指定する場合は、コンマ(,)で区切って入力します。*（アスタリスク）を指定すると全カメラが対象となります。
優先度	優先度（1～4）を指定します。1が高優先度です。

つづく

続き

項目	説明
コメント	スケジュールに対するコメントを設定します。
設定更新...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、設定ファイルを更新します。変更内容は、約1分後から反映されます（再起動は必要ありません）</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、スケジュールを更新せずにライブ停止スケジュール設定画面に戻ります。</p>
消去...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、表示されているスケジュールを消去します。変更内容は、約1分後から反映されます（再起動は必要ありません）</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、スケジュールを消去せずにライブ停止スケジュール設定画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

□ 優先度について □

スケジュール間で、ライブ停止スケジュールを行う時間帯が重なった場合、優先度の高いライブ停止スケジュールに従って画像（blue1.jpg～blue4.jpg）を配信します。

注意事項

- 連続した時間で複数のスケジュールを設定する場合、処理の連続性は保証されません。スケジュールの間で、一時的にライブ画像が配信されることがあります。
- ライブ停止スケジュールの設定を変更すると、変更後のスケジュールが有効になるまで一時的にライブ画像が配信されることがあります。

システム設定

システム共通項目を設定します。

【画面】

管理者用メニュー [システム設定](#)

【説明】

項目	説明
排他制御	カメラを排他制御するための方法を設定します。以下に示すモードから選択できます。 ロックモード ユーザーが操作している間、他のユーザーはそのカメラを操作することができません。 タイムアウトモード 設定した時間が経過すると自動的に制御権が解放され、他のユーザーが、そのカメラを使用できるようになります。
制御保持時間	タイムアウトモード選択時の制御権を解放するまでの時間を設定します。以下の値から選択できます。 30、60、90、120、150、180秒 排他制御でタイムアウトモードを選択した場合にのみ有効です。ロックモードを選択した場合、この値は無視されます。

つづく

続き

項目	説明
Proxyサーバー	本ソフトウェアがproxyサーバー経由でカメラの画像を取得する場合、proxyサーバーのIPアドレスを入力します。 proxyサーバーを使用しない場合、入力する必要はありません。
Proxy除外リスト	Proxyサーバーを使用する場合、Proxyサーバーを経由せず直接画像取得する必要のあるネットワークインターフェースユニットのIPアドレスを指定します。複数指定する場合、コンマ(,)で区切って入力します。
最大同時アクセス数	本ソフトウェアに、同時にアクセスを許可するユーザー数を設定します。以下の値から選択できます。 10、20、30、40、50、75、100、150、200 ：システムタイプ2の場合にだけ選択可能。 アクセス数が設定値を超えた場合、そのユーザーに対し、アクセスが集中していることを示すメッセージを配信して知らせます。
設定更新...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、設定ファイルを更新します。ただし、変更内容は再起動後から有効になります。</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、設定内容を更新せずにシステム設定画面に戻ります。</p>
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

データ取り出し タイプ1

本ソフトウェアが録画した画像データの一部をJPEG画像として抽出し、指定したディレクトリにコピーする機能です。

□ アラーム領域のデータを取り出すと・・・ □

指定した日時にアラーム領域のデータが含まれている場合、本ソフトウェアは取り出したアラーム画像がバックアップ済みであることを内部情報として管理します。アラーム録画領域を開放するとき、「バックアップ済のデータ領域」オプションを選択すると、内部情報をもとに、取り出しをしたデータだけを削除することができます。☞[カメラnのアラーム録画領域の開放](#)

【画面】

管理者用メニュー ☞ データの取り出し

【説明】

項目	説明
カメラ	カメラの番号を指定します。
取り出し開始点時刻	取り出し開始点の時刻を指定します。
取り出し終了点時刻	取り出し終了点の時刻を指定します。
出力先ディレクトリ	データの取り出し先 (Turbolinux Server上のディレクトリ) を指定します。 例： /tmp/S3DataTmpディレクトリに出力する場合 /tmp/S3DataTmp/

続き

項目	説明
取り出し...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。

Microsoft Internet Explorer

カメラの
2001/09/27 16:13 から
2001/09/28 16:13 までの画像データを
ディレクトリ /tmp/S3DataTmp/ に書き出します。
よろしいですか？

※取り出したファイルはJPEGフォーマットのファイルになります。

[OK] [キャンセル]

[OK] ボタン

クリックすると、データの取り出しを開始します。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、データの取り出しを行わずにデータ取り出し画面に戻ります。

管理者用メニューへ 管理者用メニューに戻ります。

□ 入力内容に誤りがある場合・・・ □

入力した内容に誤りがある場合メッセージを表示してお知らせします。誤りの箇所を修正して再実行してください。

・出力先ディレクトリが存在しない場合



・入力した時刻に誤りがある場合

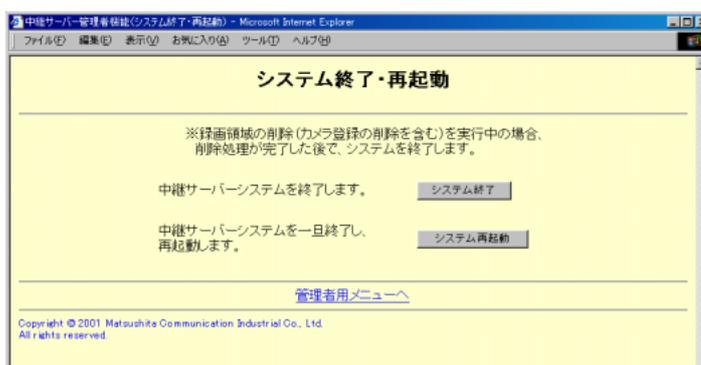


システム終了・再起動

本ソフトウェアの終了、再起動を行う画面です。
 設定によっては、再起動するまで設定内容が反映されない項目がありますので注意してください。
 再起動が必要な設定内容を変更した場合は、忘れずに [システム再起動] をクリックして本ソフトウェアを再起動してください。

【画面】

管理者用メニュー  システム終了・再起動



【説明】

項目	説明
システム終了...	<p>クリックすると、確認メッセージが表示されます。</p>  <p>[OK] ボタン クリックすると、本ソフトウェアを終了します。</p> <p>[キャンセル] ボタン クリックすると、終了せずに、システム終了・再起動画面に戻ります。</p>

続き

項目	説明
システム再起動...	クリックすると、確認メッセージが表示されます。  [OK] ボタン クリックすると、本ソフトウェアを終了後、再起動します。 [キャンセル] ボタン クリックすると、再起動せずに、システム終了・再起動画面に戻ります。
管理者用メニューへ	管理者用メニューに戻ります。

注意事項

以下の内容を必ずお守りください。

- ・本ソフトウェアの終了は、必ずこの画面で行ってください。
- ・Ctrl + Cキーやkillコマンドなどで強制終了を行うと、本ソフトウェアが使用する録画領域の画像データが破壊されます。システムの終了は必ず管理者機能で行ってください。録画領域の変更中など本ソフトウェアが処理を行っている場合、終了が受け付けられないことがあります。処理終了後にシステム終了操作を行ってください。

HTMLのカスタマイズ

標準画面のHTMLを変更することにより独自の操作画面に変更することができます。

注 標準HTMLをカスタマイズするためには、HTMLおよびCGIによるパラメータの受け渡しなどに関する知識が必要です。指定方法を誤ると、本ソフトウェアにアクセスできなくなりますのでHTMLをカスタマイズする場合は販売店にご相談ください。

URLのフォーマット

本ソフトウェアで使用するHTTPのURLは、以下のようなフォーマットで指定します。

```
http://(サーバーのアドレス)/s3?ope=Operation<&Parameters>
```

<>内は省略可能

パラメータは、以下のようなフォーマットで指定します。複数のパラメータを指定する場合は、&を区切り記号として使用します。

例：パラメータ名=パラメータ値&パラメータ値

指定例：http://(サーバーのアドレス)/s3?ope=view&CamNo=1

http://(サーバーのアドレス)/s3?ope=camctrl&CamNo=2&PRESET=1

ライブ画像取得、再生画像取得 タイプ1

view

viewオペレーションで指定したカメラのライブ画像を取得します。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	1～100 カメラ番号
PageNo	ローカルキャッシュ防止用ダミー変数（毎回、この値は変更してください）

レスポンスは、CamNoに対応するライブ画像を返します。

指定例

```
/s3?ope=view&CamNo=1&PageNo=XXXX
```

playview

playviewオペレーションにより、指定したカメラの録画画像をJPEG形式で取得します。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	1~100 カメラ番号
PageNo	ローカルキャッシュ防止用ダミー変数（毎回、この値は変更してください）

レスポンスは、CamNoに対応する再生画像を返します。

指定例

```
/s3?ope=playview&CamNo=1&PageNo=XXXX
```

カメラ操作

camctrl

camctrlオペレーションでは、指定したカメラの制御を行うことができます。camctrlオペレーションのパラメータを以下に示します。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	1~100 カメラ番号。
コマンド固有パラメータ	次表参照。

camctrlコマンド固有パラメータを以下に示します。これらはUNLOCKを除き、ネットワークインターフェースユニットで使用するcgiに1対1に対応しています。

パラメータ名	パラメータ値
UNLOCK	値なし（パラメータ名のみ） ロックされているカメラ制御権を解放する。カメラの制御権がロックモードのときのみ有効。
PRESET	0,1~64 プリセットのポジションを指定する。 0:ホームポジション呼び出し 1~64:プリセットポジション呼び出し
PAN	-10~10 負:LEFT、正:RIGHT。移動距離は、絶対値に比例する。
TILT	-10~10 負:UP、正:DOWN。移動距離は、絶対値に比例する。
ZOOM	-10~10 負:WIDE、正:TELE。変化量は、絶対値に比例する。
ATPAN	ON/OFF オートパンのON/OFF
AF	ON オートフォーカスON
FOCUS	-10~10 負:NEAR、正:FAR。変化量は、絶対値に比例する。
IRIS	-10~10 負:CLOSE、正:OPEN、0:RESET。変化量は、絶対値に比例する。

指定例

```
例： /s3?ope=camctrl&CamNo=1&PRESET=1
```

録画 **タイプ1**

record

recordオペレーションで、指定したカメラの録画を行うことができます。recordオペレーションのパラメータを以下に示します。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	1～100 カメラ番号
Recmode	TLのみ指定可能。 録画モードを指定する。 TL:タイムラプス
Interval	1～10000000 録画する間隔を指定する。単位はmsec。
Pri	1(高)～15(低) 録画の優先度を指定する。

本オペレーションで録画したデータはアラームとして録画します。また、録画は自動停止しませんので、手動で停止する(record_stop)必要があります。

レスポンスはNo Contentを返します。

指定例

```
例： /s3?ope=record&CamNo=1&Recmode=TL&Interval=500&Pri=1
```

record_stop

record_stopオペレーションで、指定したカメラの録画の停止を行うことができます。同時に複数のユーザーが手動録画している場合、指定したカメラのすべての手動録画が停止されます。record_stopオペレーションのパラメータを以下に示します。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	1～100 カメラ番号。

レスポンスはNo Contentを返します。

指定例

```
例： /s3?ope=record_stop&CamNo=1
```

再生・検索 タイプ1

play

playオペレーションで、指定したカメラに対する録画画像の再生を制御します。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	1～100 カメラ番号
COMMAND	再生系のコマンドを指定します。 Play：再生。 RPlay：逆再生。 PlayAll：全コマ再生。 RplayAll：全コマ逆再生。 Cue：早送り再生。SPEEDパラメータで速度指定する。速度指定がない場合は2倍速。 Review：巻き戻し再生。SPEEDパラメータで速度指定する。速度指定がない場合は2倍速。 Slow：スロー再生。SPEEDパラメータで速度指定する。(1のとき0.1倍速)速度指定がない場合は0.5倍速。 RSlow：逆スロー再生。SPEEDパラメータで速度指定する。(1のとき0.1倍速)速度指定がない場合は0.5倍速。 Pause：一時停止、一時停止解除 NextFrame：コマ送り。一時停止状態のときのみ有効。 PrevFrame：逆コマ送り。一時停止状態のときのみ有効。 Stop：停止。
SPEED	再生スピード。 COMMAND=Cue、Review、Slow、RSlowのときのみ有効。 Cue、Reviewでは1～20(等倍～20倍速)、Slow、RSlowでは1～9(0.1倍速～0.9倍速)までが有効。
RecId	録画画像へのポインタ。 整数値(符号付64ビット長)で表します。つぎの値には特別な意味がありません。 0：現在の再生位置から -1：録画開始点から -2：録画終了点から

RecIDが指定されていない場合、現在位置からとなります。(RecID=0と同)

レスポンスはNo Contentを返します。

tdsearch

tdsearchオペレーションでは録画データを対象とした時刻検索を行うことができます。本オペレーションを実行すると、HTMLが生成されます。生成されたHTMLには、指定した時刻に最も近い録画画像へのリンクが埋め込まれています。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	カメラ番号を指定します。 単一指定の場合：CamNo=1 複数指定の場合：CamNo=1,2,5 全指定の場合：CamNo=*
TIME	12けたの整数（yyyymmddhhmmss）で年月日時分秒を表す（24時間制）カメラのローカルタイムを指定。
DISPMODE	0または1 表示モード。 0：リスト表示、1：サムネイル表示
DISPORDER	0または1 リスト/サムネイルの表示順序 0：時間的に新しい物から表示（降順） 1：時間的に古い物から表示（昇順）

レスポンスは検索結果として録画データの再生URLのリンクが埋め込まれたHTMLファイルを返します。また、DISPMODEが0の場合は検索リストのみ、DISPMODE=1の場合はサムネイル画像が埋め込まれたHTMLとします。

almsearch

almsearchオペレーションではアラームログファイルを対象としたアラーム画像検索を行うことができます。

本オペレーションを実行すると、指定時刻以前のアラームログを、指定した件数分表示するHTMLが生成されます。

パラメータ名	パラメータ値
CamNo	カメラ番号を指定する。 単一指定の場合：CamNo=1 複数指定の場合：CamNo=1,2,5 全指定の場合：CamNo=*
TIME	12けたの整数（yyyymmddhhmmss）で年月日時分秒を表す（24時間制）カメラのローカルタイムを指定。
SKIP	検索候補から除外する数（マイナス指定も可能） SKIP=0：指定時刻から時間軸に古い方向へ検索を開始する。 SKIP=プラス：指定時刻から時間軸に古い方向へ検索して、SKIP件目まで検索候補から除外する。 SKIP=マイナス：指定時刻から時間軸に新しい方向へ検索して、(SKIP -COUNT+1) 件目まで検索候補から除外する。 ただし、 SKIP >=COUNTとする。
COUNT	1ページに表示する最大表示数
DISPMODE	0または1 表示モード 0：リスト表示、1：サムネイル表示

続き

パラメータ名	パラメータ値
DISPORDER	0または1 リスト/サムネイルの表示順序 0：時間的に新しい物から表示、 1：時間的に古い物から表示

レスポンスは検索結果として録画データの再生URLのリンクが埋め込まれたHTMLファイルを返します。また、DISPMODEが0の場合は検索リストのみ、DISPMODE=1の場合はサムネイル画像が埋め込まれたHTMLとします。

アンインストール

本ソフトウェアが不要になった場合は、アンインストール用のスクリプトを実行してください。

アンインストールスクリプトを実行すると、インストール時に作成した全ディレクトリが削除されます。

ただし、インストール後に、録画領域 (S3_DATAxx) として割り当てたパーティションまたはディレクトリは削除されません (内容は削除されます)。rmdirまたはrmコマンドで削除してください。

注 本ソフトウェアのアンインストールは、root権限で行う必要があります。

アンインストールスクリプトは、本ソフトウェアインストール時、以下のディレクトリにインストールされています。

インストール先ディレクトリ : /usr/local/s3/bin/uninstall/

インストールスクリプトと同様に、日本語表示版と英語表示版があります。お客様の環境に応じて実行してください。

日本語表示版 : /usr/local/s3/bin/uninstall/s3uninst_j

英語表示版 : /usr/local/s3/bin/uninstall/s3uninst

スクリプトの実行例 (日本語表示可能なターミナルでアンインストールする場合)

```
# cd /usr/local/s3/bin/uninstall/  
# ./s3uninst_j
```

こんなときには

現象	確認事項・対策
本ソフトウェア起動時、「Can't create s3.pid; running already or permission denied.」と表示され、起動しない	本ソフトウェアの2重起動のチェックが有効になっています。プロセスを確認し、本ソフトウェアが既に動作していないか確認してください。動作していない場合は、前回の起動が強制的に終了された可能性があります。/var/run/ディレクトリにs3.pidファイルがあるかどうかを確認し、あれば削除してください。
画像が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本ソフトウェアは起動されていますか？ ・ネットワークインターフェースユニット、カメラの電源は入っていますか？ ・カメラ設定のIPアドレスに誤りはありませんか？
カメラが切り換わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ設定のIPアドレスに誤りはありませんか？ ・同じネットワークインターフェースユニットに接続されているカメラ間で切り換えができない場合、ネットワークインターフェースユニットの動作モードが4to1モードになっていませんか？
再生できない、録画できない、検索できない	<ul style="list-style-type: none"> ・システムタイプがシステムタイプ2に設定されていませんか？ ・カメラの操作権はありますか？ ・録画領域はありますか？
カメラ画像以外の静止画像が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの電源は入っていますか？ ・ネットワークインターフェースユニットの電源は入っていますか？ ・ライブ停止スケジュール機能が有効になっていませんか？ ・ネットワークインターフェースユニットと本中継サーバー間の通信はできますか？ Pingコマンドで確認してください。 ・ネットワークインターフェースユニットのIPアドレスおよびカメラのChが正しい値に設定されていますか？ ・ネットワークインターフェースユニットの認証機能がONになっていませんか？ アクセス可能なユーザー名およびパスワードを設定し、再起動してください。 ・アナログ回線など通信レートが遅い回線を使用している場合、まれに表示されることがあります。そのような場合は画像取得間隔を大きめに設定してください。
HTMLが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・URLに間違いはありませんか？ ・Apache HTTP Serverは起動していますか？ ・HTML文書の記述に誤りはありませんか？ ・Apache HTTP Serverの設定ファイルの記述に誤りはありませんか？
アラームや画像取得に失敗しても、設定したアドレスにメールが届かない	<ul style="list-style-type: none"> ・アラーム設定でメール機能を使用する設定になっていますか？ ・サーバーのメール機能は正常に動作していますか？ 中継サーバーが動作しているマシン上でmailコマンドを使用するなど、指定したアドレスに届くかどうか確認してください。 ・メールアドレスに間違いはありませんか？
録画できなくなった	録画領域がデータで一杯になっていませんか？必要であればバックアップを取り、アラーム画像を削除してください（通常領域になります）。
カメラがプリセットポジションに移動しない	カメラ側でプリセットポジションは設定されていますか？
カメラがホームポジションに戻らない	カメラ側でホームポジションは設定されていますか？
管理者用メニューが表示できない	本ソフトウェアは起動していますか？管理者用メニューを表示する場合も本ソフトウェアが起動している必要があります。

索引

4画面表示.....	2-10	TILT	3-52
	A	TIME	3-55
AF	3-52		U
almsearch	3-55	UNLOCK.....	3-52
ATPAN	3-52	URLのフォーマット.....	3-51
	C		V
camctrl.....	3-52	view	3-51
CamNo	3-51, 3-52, 3-53, 3-54, 3-55		Z
COMMAND	3-54	ZOOM	3-52
COUNT	3-55		あ
	D	アイリス.....	2-7
DISPMODE	3-55	空き容量.....	3-22
DISORDER	3-55, 3-56	アクセス制限	1-9
	E	宛先.....	3-37
Eメール通知	3-36	アラーム画像検索	1-16
	F	アラーム機能 (解説).....	1-17
FOCUS	3-52	アラーム設定.....	3-36
	H	アラーム録画 (解説).....	1-14
HTMLのカスタマイズ.....	3-51	アラーム録画領域 (解説).....	1-15
	I	アラーム録画領域の開放.....	3-29
Interval	3-53	アラーム録画領域の開放画面	3-29
IPアドレス	3-16, 3-20	アラーム画像.....	iii
IPアドレス編集 (カメラ設定).....	3-18	アンインストール	3-57
IRIS.....	3-52	一時停止.....	2-9
	P	一括初期化設定画面.....	3-22
PageNo	3-51, 3-52	インストール	3-4
PAN.....	3-52	インストールのしかた	3-6
play.....	3-54	映像取得間隔.....	3-19
playview.....	3-52	映像取得間隔について	3-19
PRESET	3-52	映像取得パスワード.....	3-19
Pri.....	3-53	映像取得モード	3-19
Proxyサーバー.....	3-46	映像取得ユーザー	3-19
Proxy除外リスト	3-46	エンドレス.....	3-22, 3-24
	R	オートパン	2-6
Reclد	3-54	オペレーター	1-6, 3-32, 3-33
Recmode.....	3-53		か
record.....	3-53	カメラ.....	3-20
record_stop.....	3-53	カメラ設定画面	3-16
	S	カメラ選択	2-5, 2-10
SKIP	3-55	カメラ操作	3-52
SPEED	3-54	カメラ操作パネル	2-6
	T	カメラの設定	3-3
TCP通知.....	3-37	管理者	iii
tdsearch.....	3-55	管理者機能	3-12
		管理者グループ.....	1-6
		管理者用メニュー画面	3-14
		管理編	3-1
		機能概要.....	1-5

基本操作パネル.....	2-4
逆コマ送り.....	2-9
逆再生.....	2-9
逆スロー再生.....	2-9
逆全コマ再生.....	2-9
グループ.....	1-6, 3-17, 3-19, 3-32, 3-33
グループ名.....	3-31, 3-35
グループ名一覧.....	3-35
グループ名設定.....	3-35
現在の録画容量.....	3-26
高速逆再生.....	2-9
高速再生.....	2-9
個別カメラ設定画面.....	3-18
コマ送り.....	2-9
こんなときには (管理編).....	3-58
こんなときには (操作編).....	2-15
さ	
サーバー.....	iii
再生.....	2-9
再生・検索.....	3-54
再生画像取得.....	3-51
再生操作パネル.....	2-9
再生モード.....	2-8
最大同時アクセス数.....	3-46
差出人.....	3-37
時刻検索.....	2-11
システム構成.....	1-2
システム再起動.....	3-49
システム終了.....	3-49
システム設定.....	3-45
システムタイプ.....	1-5, 3-4, 3-14
周辺機器の準備.....	3-2
終了.....	3-11
出力先ディレクトリ.....	3-47
使用可能ディスク容量.....	3-24
常時接続.....	1-8
商標.....	iii
商品概要.....	i
初期化.....	3-24
初期化時の動作.....	3-25
初期化対象.....	3-22
新規ユーザー登録画面.....	3-32
随時接続.....	1-8
ズーム.....	2-6
スケジュールによる管理.....	1-11
スケジュールの設定.....	3-10
スケジュールの有効 / 無効.....	3-40, 3-43
スロー再生.....	2-9
制御保持時間.....	3-45
全コマ再生.....	2-9
操作の基本.....	2-2
操作編.....	2-1
ソフトウェア.....	iii
た	
タイトル.....	3-16, 3-18, 3-20
タイプ1.....	iii
中継サーバーソフトウェアの起動.....	3-9
追加後の録画容量.....	3-26
追加録画容量.....	3-26
通常録画領域.....	1-15
ディレクトリ構成.....	3-5
データ取り出し.....	1-17, 3-47
動作環境.....	1-3
な	
入力Ch.....	3-16, 3-20
ネットワークインターフェースユニットの設定.....	3-2
ネットワークパスワード入力画面.....	3-12
は	
排他制御.....	3-45
パスワード.....	3-32, 3-33
パソコン.....	iii
バックアップ済みのデータ領域.....	3-29
パン/チルト.....	2-6
フォーカス.....	2-7
付属品.....	ii
プリセット.....	2-6
ま	
マニュアル録画.....	1-14, 2-7
メール環境の整備.....	3-11
モード切換え.....	2-7, 2-9
モニター.....	1-6, 3-32, 3-33
モニタリング機能.....	1-8
や	
ユーザー.....	iii
ユーザー一覧画面.....	3-31
ユーザー管理.....	1-5
ユーザー設定.....	3-31
ユーザー操作制限.....	3-18
ユーザータイプ.....	1-6, 3-32, 3-33
ユーザー登録変更画面.....	3-33
ユーザー認証.....	1-7
ユーザー認証ダイアログ画面.....	2-2
ユーザーの登録.....	3-11
ユーザー名.....	3-32, 3-33
ユーザー制限.....	3-16
優先度.....	3-39, 3-42, 3-43

優先度について3-41, 3-44

容量3-22

ら

ライブ画像取得3-51

ライブ停止スケジュール一覧画面3-42

ライブ停止スケジュール機能1-11

ライブ停止スケジュール設定3-42

ライブ停止スケジュール設定画面3-43

ライブ配信停止画像ファイル3-10

領域のバックアップ3-10

録画3-53

録画 (アラーム設定)3-37

録画インターバル (アラーム設定)3-37

録画開始方法 (解説)1-13

録画間隔3-39

録画時間 (アラーム設定)3-37

録画状況3-20

録画スケジュール (解説)1-13

録画スケジュール一覧画面3-38

録画スケジュール設定3-38

録画スケジュール設定画面3-40

録画の一時停止画面3-30

録画の再開画面3-30

録画容量3-20

録画領域 (解説)1-14

録画領域一覧3-20

録画領域削除画面3-28

録画領域初期化画面3-24

録画領域設定3-20

録画領域設定画面3-23

録画領域追加画面3-26

録画領域の確保3-7

録画領域の初期化3-9

録画領域の追加3-10

録画領域の容量3-24

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N1101-1012 V8QA5729BN

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd. (松下通信工業株式会社)2001